HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています。

日立全自動電気洗濯機

型式

ビーダブリュー エックス エフ
BW-X100F



ビートウォッシュ
日立全自動洗濯機

マイページ(日立の家電品お客様サポート)への登録をおすすめします。

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- ●家電品の登録・管理
- ●お役立ち情報
- ●安全点検サービス割引
- ●パーツショップ送料特典
- ●お知らせ

日立の家電品
お客様サポート

詳しくはP.83をご覧ください。

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、カンタンご使用ガイド・据付説明書・据付チェックシートとともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→**(P.8～11)**をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ・付属品 4
操作パネルのはたらき 6
安全上のご注意 8
使用上のご注意 12
据え付け状態の確認 12
ふたの開閉をする 13
チャイルドロックを設定する 13

お洗濯の前に

お洗濯の基本の3ステップ 14
洗濯物の確認と準備 16
洗濯もエアジェットもできないもの 16
エアジェットができないもの 16
洗濯物の準備 17
洗濯物の量と重さの目安 18
洗濯物の片寄りを防ぐ 19
液体洗剤・柔軟剤自動投入機能の使いかた 20
自動投入時の液体洗剤・柔軟剤の入れかた 20
自動投入を初めて使うとき、
使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき 21
自動投入の設定・解除 22
使いかた 23
洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた 24
洗濯物の量の計測と洗剤量表示 24
洗剤・漂白剤・柔軟剤量 24
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた 26
石けん(天然油脂)の入れかた(手動投入時のみ) 27
洗濯のりの使いかた 29
使用できる洗濯のり(手動投入時のみ) 29

使いかた

風呂水を使う(お湯取運転) 30
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた 30
お湯取運転の設定 32
運転コースの選びかた 34
標準コース・おいそぎコース・念入りコース 36
手造りコース(自分でコースを造る) 36
デリケートコース 37
おしゃれ着コース 38
部屋干しコース 40
干しかたのポイント 40
毛布コース 41
毛布・掛け布団の折りかた・入れかた 43
毛布・掛け布団の干しかた 43
高濃度つけおき120分コース 44
高濃度つけおき360分コース 44
エアジェットを使う 45
自動おそうじを使う 45
ナイアガラすすぎ・注水すすぎを使う 46
予約運転をする 47
予約ボタンの使いかた(切り替え内容) 47
お好みの設定で運転する 48
水量・洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する 48
水量を手動で変更する 48
「脱水」のみなどの個別運転をする 49
運転内容と変更できる内容 50
便利な使いかた 52
運転スタート音・終了予告音・終了音の設定 52
終了予告音の設定 52
高速脱水の設定 53
水量を多めにする 53
洗濯液を2度使う(手動投入時のみ) 54

お手入れ

お手入れをする 55
糸くずフィルター 55
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口) 56
柔軟剤投入ケース 56
柔軟剤投入ケース差し込み口 57
注水口 57
自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)・タンク取付部 58
自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)と液体洗剤・柔軟剤経路 60
排水口・排水トラップ 62
給水口 63
本体 64
洗濯・脱水槽 64
風呂水吸水口 64
お湯取ホース・クリーンフィルター 65
洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗浄・槽乾燥コース) 66
コースの使い分け 66

お困りのとき

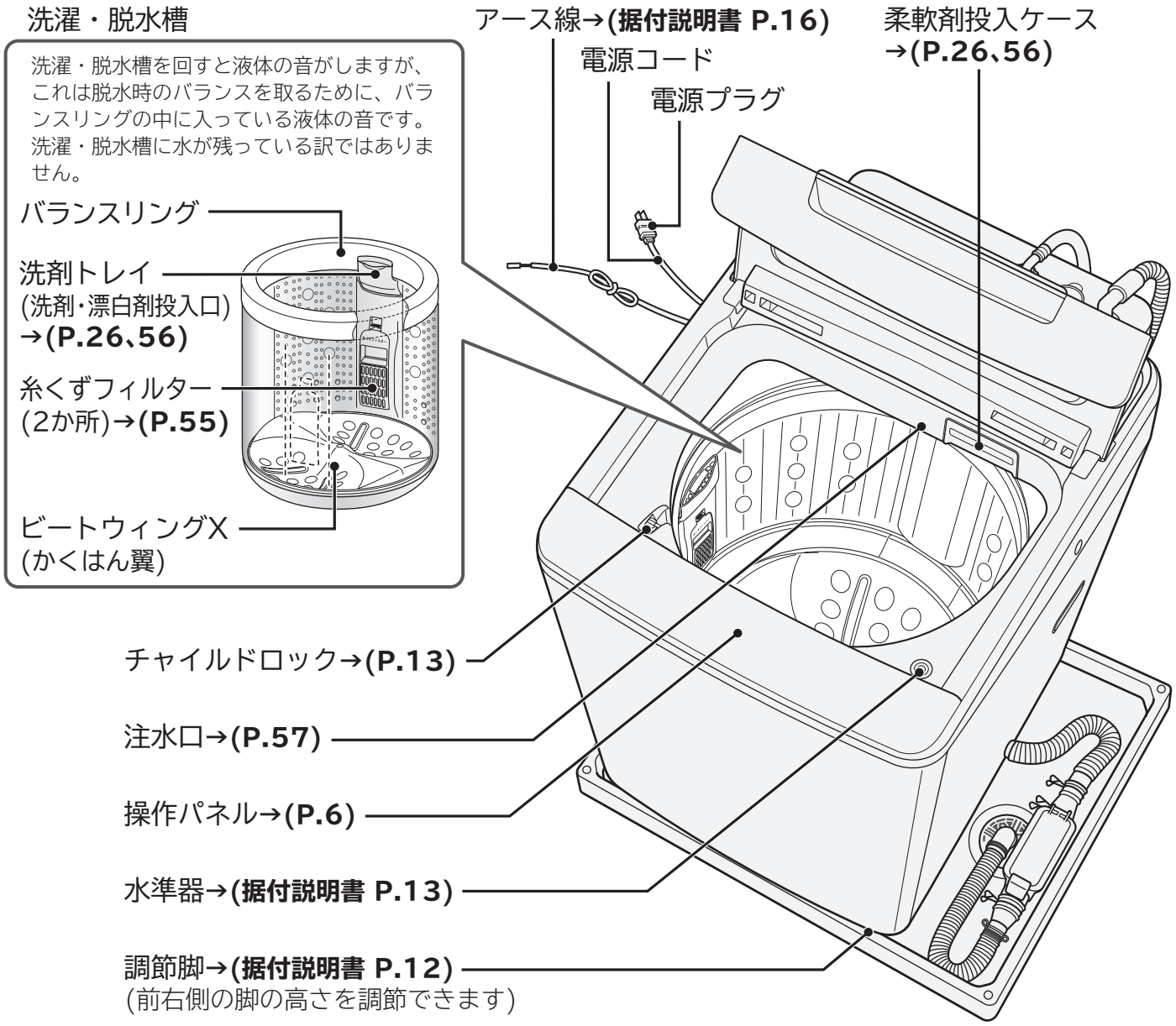
お知らせ表示(C○などが表示)されたとき 68
こんな音がしたとき 69
本体各部 70
❶ 本体・振動・音 70
❷ 給水口・給水 70
❸ 排水口・排水 71
❹ ふた 71
❺ 洗濯・脱水槽 71
❻ 風呂水吸水口・風呂水吸水 71
❼ 柔軟剤投入ケース 71
❽ 自動投入部 (液体洗剤タンク・柔軟剤タンク) 72
本体の運転動作 72
❾ 運転動作 72
❿ 運転時間 73
操作パネルの表示内容 73
⓫ 水量表示・洗剤量表示 73
⓬ 残時間表示 73
洗濯物の仕上がりが気になる 74
⓭ 衣類に洗剤残りがある (白いものが残る) 74
⓮ 糸くずが気になる 74
⓯ 汚れ落ちがわるい 74
⓰ 黒ずみが気になる 75
⓱ 黄ばみが気になる 75
⓲ 色移りや変色が気になる 75
⓳ 洗濯物がゴワゴワする 75
⓴ においがする 76
㉑ 柔軟剤の効果がない 76
㉒ エアジェットや部屋干しを設定したのに乾きがわるい 76

アフターサービスなど

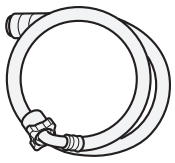
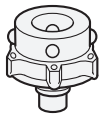
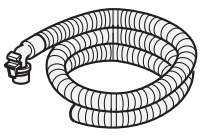
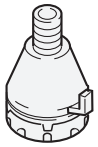
もしものとき 77
給水ホース内の水抜きをするとき
(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき) 77
もしも凍結したとき 77
別売り部品 78
仕様・試験結果 79
保証とアフターサービス 80
マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内 83
保証書 84

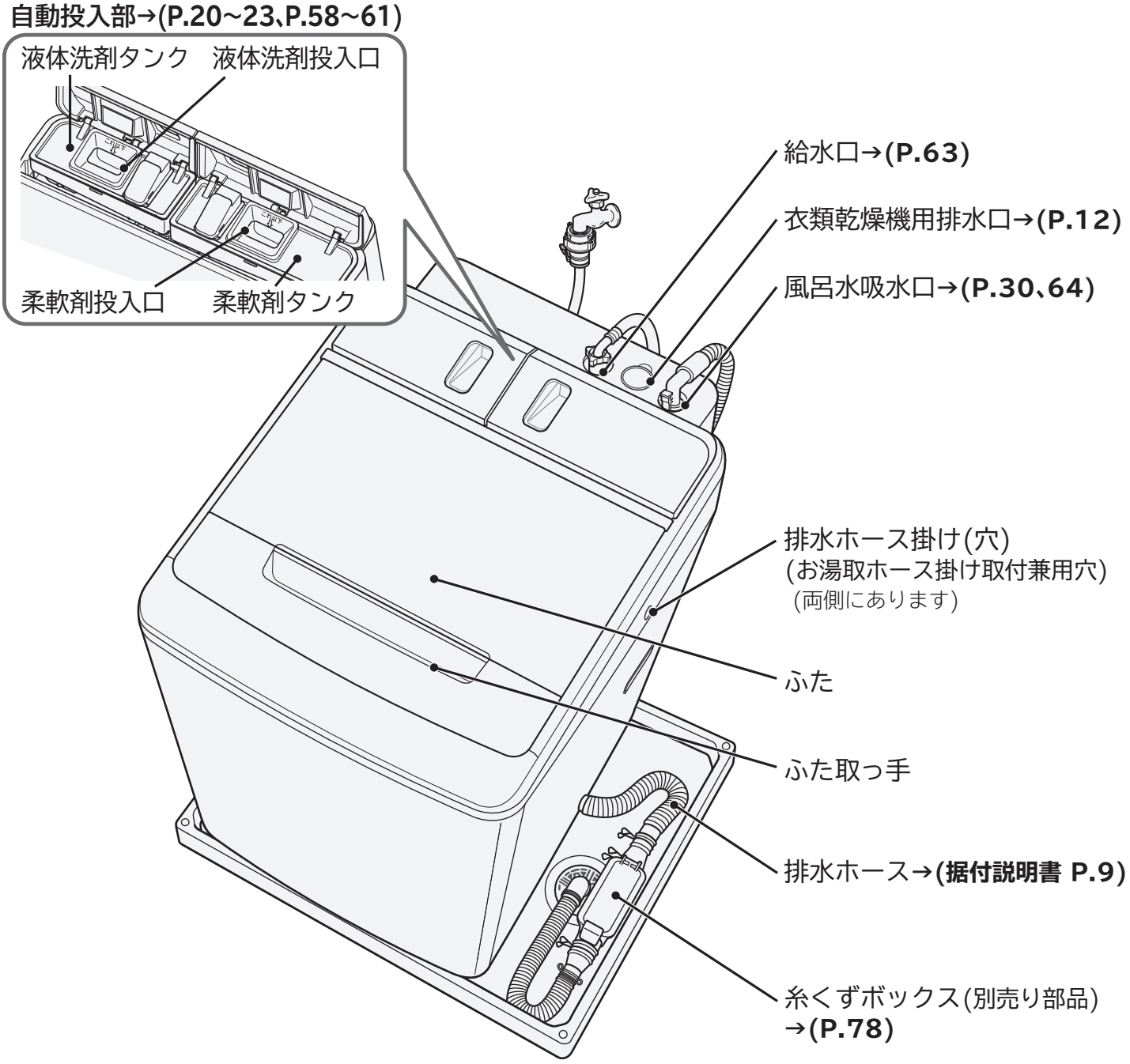
各部のなまえ・付属品

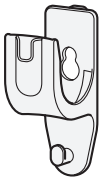
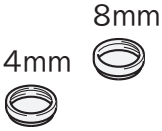
使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→**(P.○○)**で示しています。



付属品

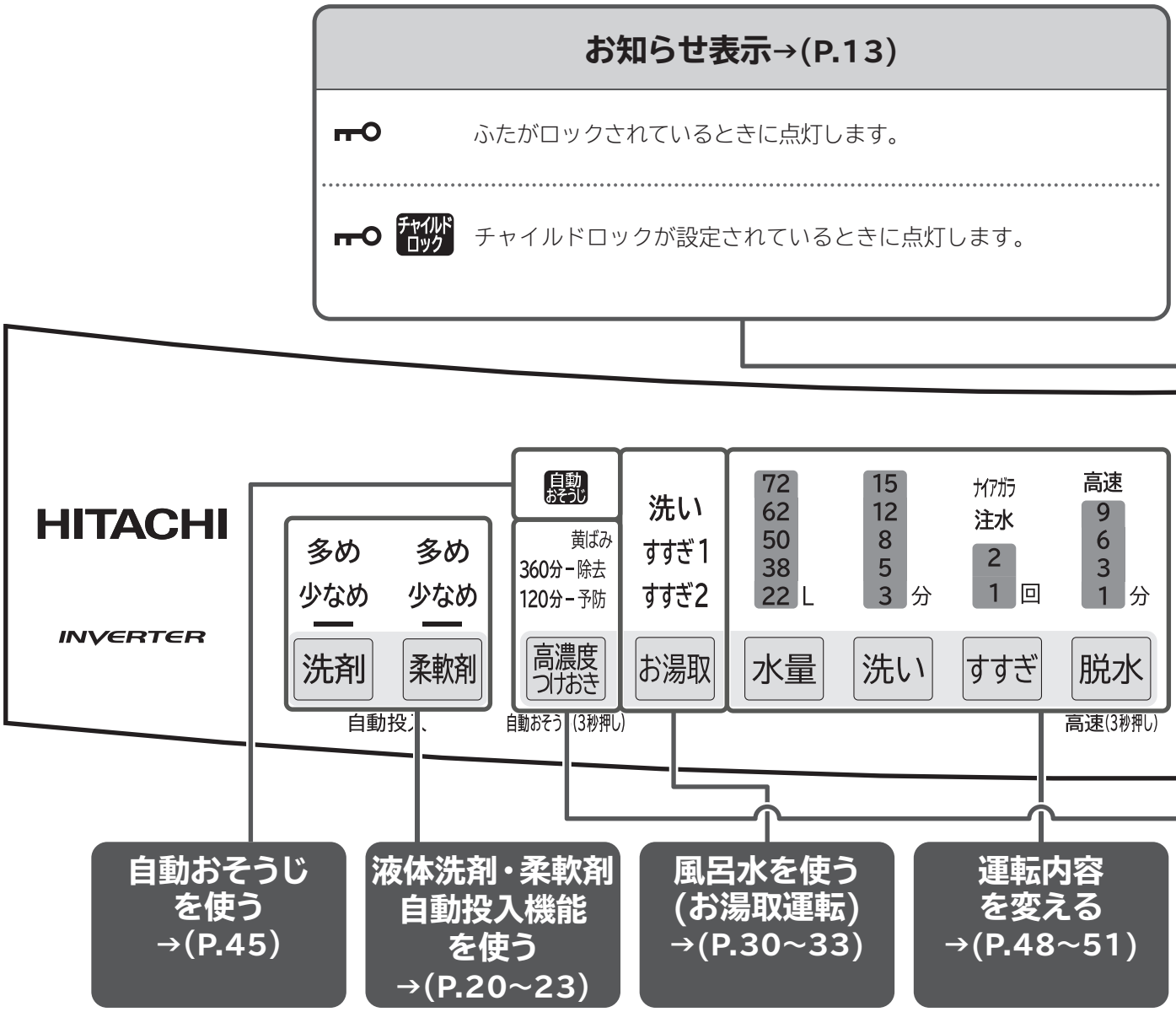
水栓(蛇口)との接続に使用します		風呂水を使うときに使用します		
給水ホース (約0.8m) →(据付説明書 P.14)	ワンタッチつぎて →(据付説明書 P.5)	お湯取ホース (約4m) (吸水ホース) →(P.30)	クリーン フィルター →(P.30)	
				
(1本)	(1個)	(1本)	(1個)	



	お湯取ホースを片付けるときに使用します	本体を水平に据え付けるときに使用します
	お湯取ホース掛け →(P.31)  （1個）	脚キャップ （高さ調整用） →(据付説明書 P.12)  （各1個）

操作パネルのはたらき

説明のため、すべての表示を点灯状態にしているので、実際の表示とは異なります



残時間表示の見かた

表示例：

1時間30分の場合



30分の場合



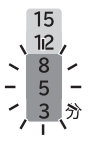
100分以上または洗濯物の量を自動計測している場合



表示の見かた（☼ は点滅を表します）

表示例：

「洗い(8分)」運転中



「すすぎ1」運転中
(すすぎ2回設定時)



「ほぐし」運転中



「洗剤量(0.8杯)」表示

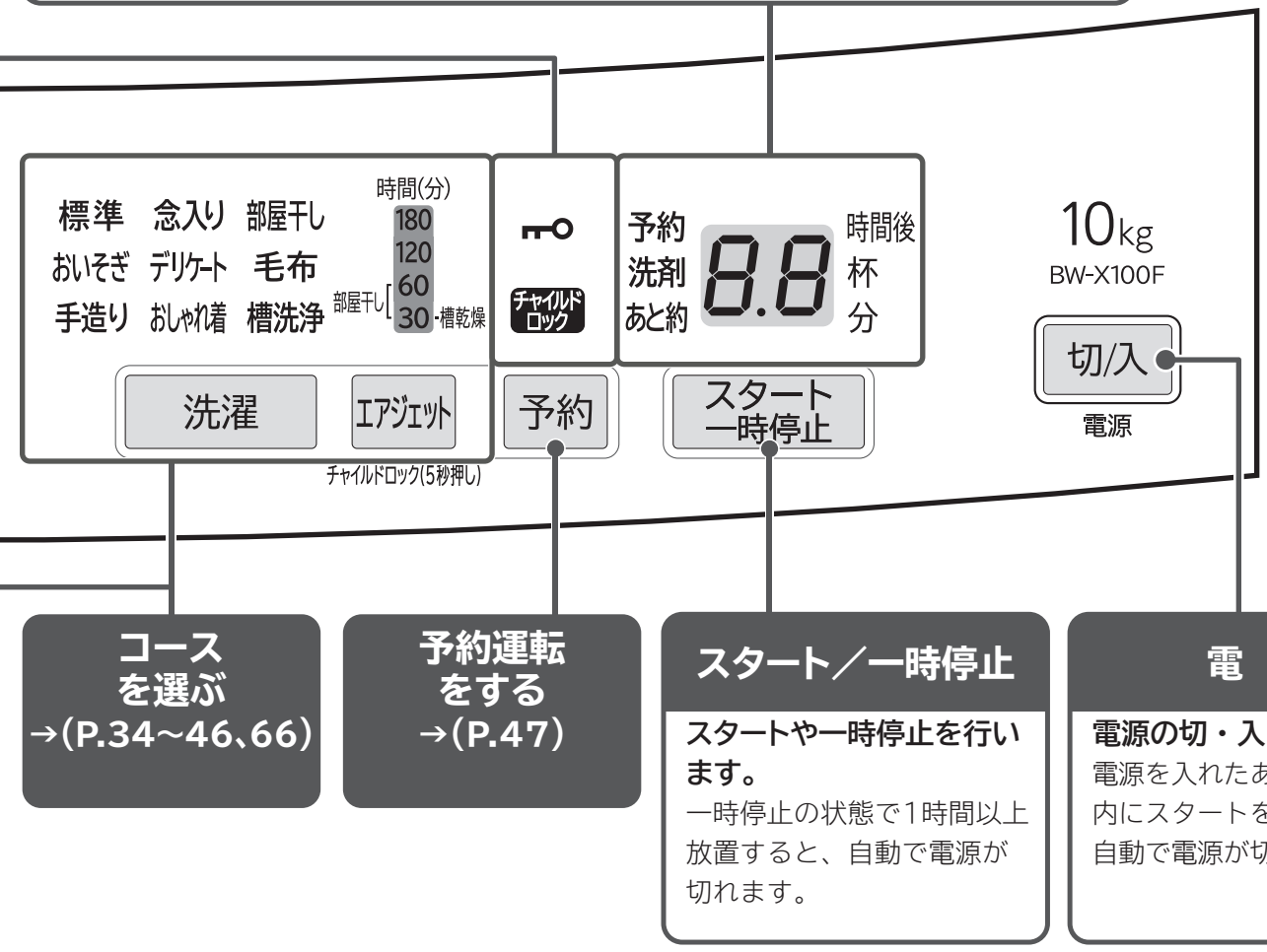


「脱水(6分)」運転中



洗剤量・残時間・予約時間・お知らせ表示
→(P.24、47、68)

●運転スタート後に洗剤量・残時間の目安が表示されます。
●「予約」を押すごとに予約運転終了予定時間が表示されます。
●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。
例：C2、F1など
●自動投入の基準量を設定するときに液体洗剤や柔軟剤の基準量が表示されます。
例：20、10など



コースを選ぶ
→(P.34～46、66)

予約運転をする
→(P.47)

スタート／一時停止
スタートや一時停止を行います。
一時停止の状態で1時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

電　源
電源の切・入を行います。
電源を入れたあと、20分以内にスタートをしないと、自動で電源が切れます。

■ボタンの長押し操作で設定を変更することができます。
例：エアジェットを5秒以上押すと、チャイルドロックの設定・解除ができます。→(P.13)
ほかにも、長押し操作で設定・解除ができる機能があります。
自動投入を使う→**(P.20)**、お湯取設定を記憶させる、清水すすぎを設定する→**(P.33)**、
便利な使いかた→**(P.52～54)**

操作パネルの点字表記について
目の不自由なかたのために操作パネルの位置がわかる「点字シール」(操作パネルにはり付けます)をご用意しています。ご希望のかたは、「商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口」へお問い合わせください。→(P.82)

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
⚠「警告や注意を促す」内容のものです。
してはいけない「禁止」内容のものです。
実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）

禁止

●電源コードを傷つけない
・傷つけない、加工しない　・無理に曲げない、引っ張らない、 ねじらない
・加重をかけない、挟み込まない
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない

指示

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●電源プラグを根元まで差し込む
●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る

プラグを抜く

●電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
●お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く

アース線接続

●アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

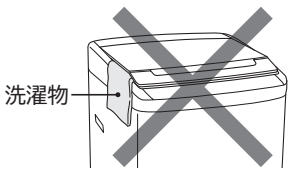
本体の故障や事故を防ぐために（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたのガラス部の割れや傷のおそれ）

水場禁止

●浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。

禁止

●キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない
運転中の振動で本体が移動したり、転倒したりして、けがをするおそれがあります。
●ふたと本体の間に洗濯物を挟まない
洗濯物が挟まったまま運転すると、洗濯・脱水槽に巻き込まれて本体が破損したり、故障するおそれがあります。



⚠警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ）


禁止

●引火物や火気を洗濯・脱水槽や自動投入タンクの中に入れない、近づけない
・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
・ローソク、蚊取り線香、たばこなど
●揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない
●お湯取ホースで、灯油やガソリンなど水以外のものを吸い込まない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために（感電・発火・火災のおそれ）


プラグを抜く

●本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する


分解禁止

●分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。
●本体にはり付けているシール類ははがさない


水ぬれ禁止

●本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない


禁止

●入浴中は風呂水吸水をしない

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）


禁止

●子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、感電、けが、おぼれるおそれがあります。
チャイルドロックの設定ができます。→(P.13)
●子どもにふたのガラス面(強化処理ガラス)に乗らせない
●操作に不慣れな方だけでは使わせない
●液体洗剤や柔軟剤は、子どもの手の届かないところ、見えないところに置く
液体洗剤や柔軟剤を誤飲するおそれがあります。


指示

●付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）


接触禁止

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）


指示

●洗剤は表示に従って適量を入れる→(P.24)
●液体洗剤や柔軟剤を入れ間違えない→(P.20、26)
●液体洗剤(柔軟剤)の自動投入設定時、手動投入部に洗剤(柔軟剤)を入れない

⚠注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯･脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物･本体･周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。

禁止

●防水性の衣類・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水がたまっています。そのまま脱水をすると、たまった水が急激に移動し、回転バランスがくずれて異常振動が発生することがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、本体が転倒することもあります。

防水性・繊維製品の例

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど
(洗濯物に洗える表示があっても洗わないでください)

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない

折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、本体が転倒することもあります。



●一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しない

異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けがを防ぐために

禁止

●ロックされた状態のふたを無理に開けない

接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●ふたはふた取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない

無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながることがあります。

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために

指示

●洗濯前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないことを確認する

水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)の接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないことを確認する

●本体のタンク取付部に異物などが付着していないことを確認する

異物などが付着していると、液体洗剤・柔軟剤が液漏れする原因になります。

⚠注意

風呂水運転時の水漏れを防ぐために

（サイホン現象により、お湯取ホースから残水が流れ出して水漏れや床をぬらすおそれ）


禁止

●風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない
●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない

洗濯物の損傷を防ぐために


指示

●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

けがや水漏れ、本体の損傷や故障を防ぐために


禁止

●50℃以上のお湯を使用しない
●給湯器とつながない
瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。

●本体のタンク取付部に液体洗剤タンクと柔軟剤タンクをきちんと取り付ける
付属品以外のタンクを使用すると、本体の故障や液体洗剤・柔軟剤が液漏れする原因になります。

●自動投入部ふたを開けた状態で自動投入部ふたを持って外さない
本体の故障や液体洗剤・柔軟剤が液漏れする原因になります。

●ふたのガラス面(強化処理ガラス)の上にのぼったり、ものを置いたり、落としたり、衝撃を加えない
けがのおそれがあるので、ひびが入ったり、傷がついたり、割れたりした場合は、使用を中止し、すぐに修理を依頼してください。

●ふたのガラス面(強化処理ガラス)には、洗濯かごなどのものを置かない
強化処理ガラスは普通のガラスに比べ強度が高く、安全性の高いガラスですが、強い衝撃や力を加えると、破損してけがをするおそれがあります。
万一、傷がついたり、割れたりした場合は、使用を中止し、すぐに修理を依頼してください。

●本体の上にのぼったり、重いものを置いたりしない

●運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない
洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、水漏れや本体の故障の原因になります。
また、洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損、洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれがあります。

●直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けない
本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色して、本体が故障するおそれがあります。


指示

●別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレー→(P.78)を設置する
床面を結露による水滴から守るときに、洗濯機用防水パン・洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

●断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

●**運転中は電源プラグを抜かない**（本体の故障のおそれ）
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。

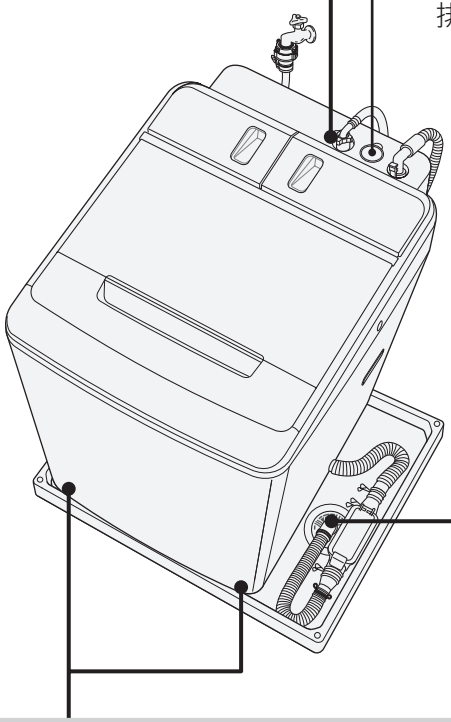
●**本体にテレビやラジオを近づけない**（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。

●**洗濯物を入れ過ぎない**（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれ）

●**エアジェット運転中は十分に換気をする**

据え付け状態の確認

次のような問題を防ぐため、確認をしてください。
解決しないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

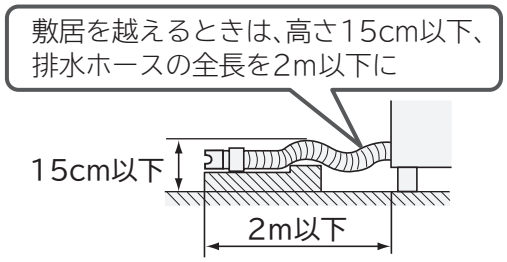


水漏れを防ぐ

●水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて
→(P.4)を使用していますか？
●接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
●給水ホースのつぎてが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。ユニオンナットをさらに、約90°回し、しっかり締め付ける。
→(据付説明書 P.14)
●水栓(蛇口)にさびの発生はありませんか？

排水異常を防ぐ

●排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？
●排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？
→(据付説明書 P.10)



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

●本体が水平に設置されていますか？
水準器の気泡が円の中に入るように、調節脚や脚キャップで本体の水平を調節してください。
→(据付説明書 P.12)

※1：衣類乾燥機の排水ホースを接続する場合は、衣類乾燥機の取扱説明書をご覧ください。

排水時の停止を防ぐ(お知らせ表示C2、Chの表示)

●排水口が掃除できるように設置されていますか？
排水口・排水トラップは月１回を目安にお手入れをしてください。**→(P.62)**
●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス**→(P.78)**をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

ふたの開閉をする

安全のため、運転中はふたが自動でロックされています。

運転の流れとふたのロック表示



洗濯運転中にふたを開ける手順

1 スタート 一時停止 **を押し、運転を一時停止する**

- 洗濯・脱水槽の回転が止まると、 が消灯します。
- 無理にふたを開けると、ふたが破損するおそれがあります。

2 **ふたを閉め、** スタート 一時停止 **を押し、運転を再開する**

- が点灯してふたがロックされ、運転が始まります。
- しっかりふたを閉めないと、ふたがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。
- すすぎの運転中に一時停止をした場合、運転再開後、次の脱水運転が始まる前にふたがロックされます。
- 「おしゃれ着」コースは給水から、「毛布」コースは洗いからふたがロックされます。

チャイルドロックを設定する

子どもが勝手にふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽の中に落ちないようにするため、電源を切った状態や運転前、運転中に強制的にふたをロックして、開けられないようにすることができます。

電源が入っていないとき

1 **ふたを閉め、** 切/入 **を押し、電源を入れる**

2

設定するとき

エアジェット **を5秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、設定完了音「ピッ」が鳴り、 と チャイルドロック が点灯し、チャイルドロックが設定されます。

解除するとき

エアジェット **を5秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、設定完了音「ピー」が鳴り、 と チャイルドロック が消灯し、チャイルドロックが解除されます。

3 切/入 **を押し、電源を切る**

運転をしているとき

チャイルドロックの設定は、運転中いつでもできます。解除するときは、運転を一時停止してから行ってください。

設定するとき

エアジェット **を5秒以上押す**

設定完了音「ピッ」が鳴り、 と チャイルドロック が点灯し、チャイルドロックが設定されます。

設定を解除するとき

1 スタート 一時停止 **を押し、運転を一時停止する**

2 エアジェット **を5秒以上押す**

設定完了音「ピー」が鳴り、 と チャイルドロック が消灯し、チャイルドロックが解除されます。

3 スタート 一時停止 **を押し、運転を再開する**

チャイルドロックが設定された状態で運転が終了すると、電源が切れていてもふたは開けられません。
ふたが開かないとき→**(P.71)**

お洗濯の基本の3ステップ

お洗濯の基本的な流れを説明します。

事前の設定をする

→(P.21、22)

自動投入の設定を確認してください。自動投入を初めて使うとき、使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるときは、使用する液体洗剤や柔軟剤に合わせた基準量の設定が必要です。

1 準備する

洗濯物の確認と準備→(P.16)

1 水栓(蛇口)を開ける

2 洗濯物を入れる

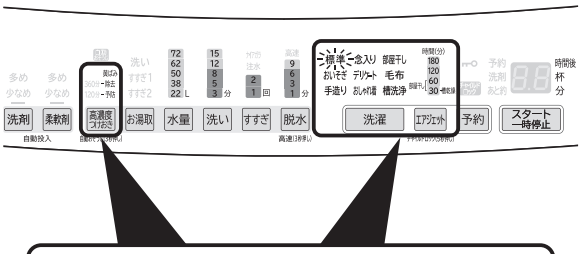
防水性の衣類などは入れない→(P.10)

3 切/入 を押し、電源を入れる



2 コースを選ぶ

洗濯 または 高濃度つけおき、エアジェット を押し、コースを選ぶ



運転コースの選びかた→(P.34)

[標　　準]コース
[おいそぎ]コース
[手 造 り]コース
[念 入 り]コース
[デリケート]コース
[おしゃれ着]コース
[部屋干し30分]コース
[部屋干し60分]コース
[毛　　布]コース
[高濃度つけおき120分]コース
[高濃度つけおき360分]コース
[エアジェット]コース

運転コースを選んだあと、各機能の設定・解除ができます。お好みに合わせて設定してください。→(P.35)

3 スタートする

1 スタート 一時停止 **を押す**

手動投入する場合は、洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる→(P.24)

表示されている洗剤量(目安)に従って、
洗剤などを投入口に入れる

2ふたを閉める

運転中・・・

3運転終了後、洗濯物を取り出す

4お手入れをする

毎回のお手入れ→(P.55)
(糸くずフィルターなど)

そのほかのお手入れ→**(P.56～65)**

[槽洗浄]コース→**(P.66、67)**

[槽乾燥]コース→**(P.66、67)**



洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯もエアジェットもできないもの

洗濯物の縮み、形くずれ、変色、風合い劣化などの原因になります。
また、洗濯物が洗濯・脱水槽内の隙間に挟まり、洗濯物の損傷や部品破損の原因にもなります。

●次のような取扱絵表示が付いているもの

(家庭での洗濯禁止)表示

Ⓕ (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示

Ⓕ (石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示

●取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
●ネクタイ、スーツ、コート
●和服、和装小物製品
●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
●シルク製品
●ベルベットなどのパイル地製品
●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどの原因になります。

●防水性製品 →(P.10)
洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
●玄関マット、ラグマット、敷物
・裏面にゴムが付いているもの
・厚手のもの
・毛足の長いもの
●カーペット
●座布団や枕、クッションなど
●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
●ペットの毛が多量に付着したもの

エアジェットができないもの

縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などの原因になります。

●ゴムやウレタンなどを使用した製品
●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
●布団類などわたを使用した製品
●ウールなどの獣毛およびその混紡製品
●タイツ
●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
●濃い色のプリントもの

●次のような取扱絵表示が付いているもの

Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示

Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示

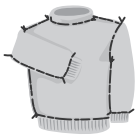
|I| つり干しがよい

弱くしぼる、ねじりまたはしぼり禁止の表示のあるもの

エアジェット：洗濯・脱水槽の高速回転で洗濯物の水分を飛ばします。

洗濯物の準備

上手に洗濯をするために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す		硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める		衣類のひもなどは結び、ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷みの原因になります。 ひもが洗濯・脱水槽内の穴に入って抜けなくなり、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす(えり、そで口などの脂汚れ)		しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておくと、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く		大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返しする		毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦や、かくはん翼でのこすれは、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちや損傷などを防止するために、分けて洗濯してください。

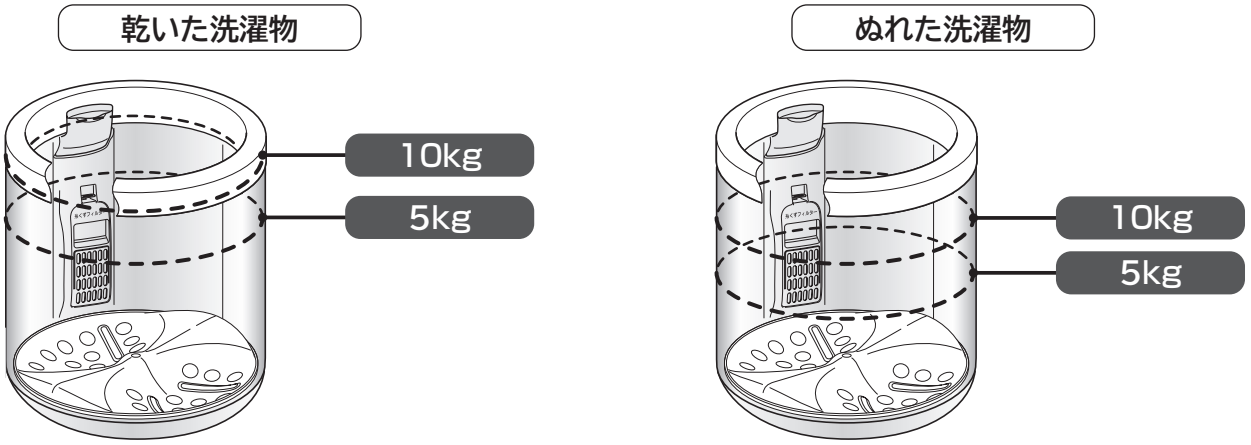
色落ちしやすい洗濯物	●白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないことを確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ●著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2、3枚まとめて洗濯してください。 ●色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	●タオル・バスタオル・フリースなどは分けて洗濯してください。 ●コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物、ストッキングなどは、市販の糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗濯してください。
デリケートな洗濯物・小物類	●洗濯物の注意表示に洗濯ネット使用の記載があるものや、レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯物の損傷を防ぐためにも、洗濯ネットに入れて洗濯してください。 ●ワイヤー入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗濯してください。

洗濯物の確認と準備　つづき

洗濯物の量と重さの目安

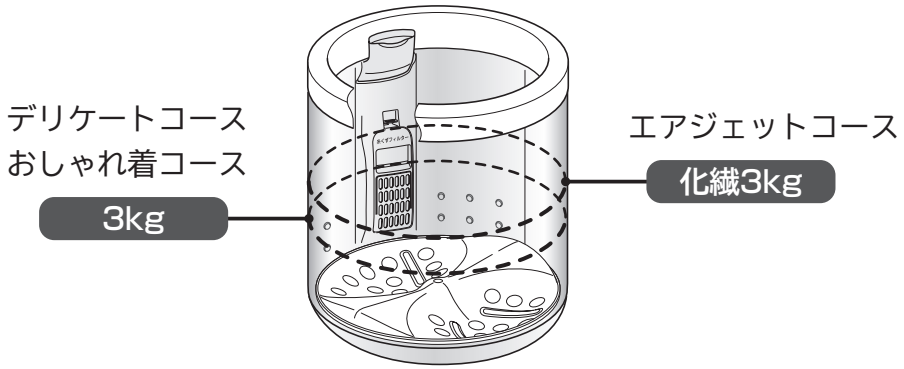
運転コースによって、洗濯できる量と重さが異なります。→(P.34)
量と重さの目安に従って、洗濯物を洗濯・脱水槽に入れてください。

洗濯時の乾いた洗濯物と脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安



デリケート・おしゃれ着コース使用時の洗濯物の量と重さの目安

エアジェットコース使用時のぬれた洗濯物の量と重さの目安



衣類別の一枚当たりの重さの目安

衣類の重さを確認するための目安です。衣類の素材や大きさにより実際の重さは異なります。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	ブリーフ、靴下		
100g	肌着		タオル
200g		ワイシャツ	
300g			バスタオル
400g		パンツ、スカート	パジャマ上下
500g		シーツ	

衣類の重さの目安は、一般社団法人　日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物を傷めたり、本体の故障の原因になるため自動で片寄りを修正する動作を行います。そのとき、運転時間が長くなります。
自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

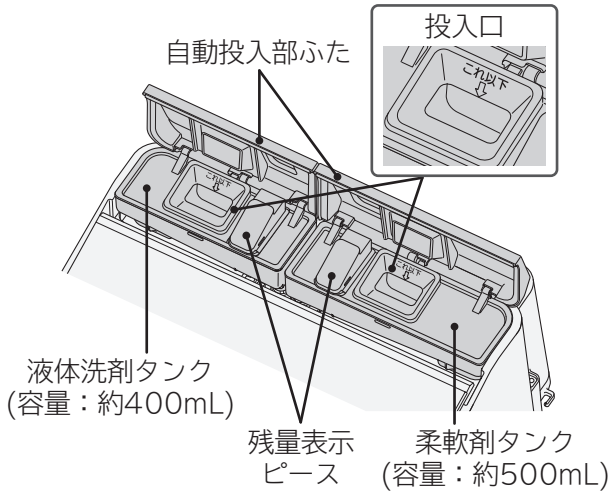
洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは	●重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。  ●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。
洗濯ネットを使うときは	●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 片寄りが起こりやすくなるだけでなく、汚れ落ちもわるくなります。 2、3個の洗濯ネットに分けて入れてください。 ●一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しないでください。 洗濯物が片寄り、異常振動の原因になります。 ※洗濯ネットのファスナーは閉めてください。 閉めないで使用すると洗濯物を傷める場合があります。
大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は	●大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。 一つだけで洗濯しないでください。 ほかの洗濯物を2、3枚追加して洗濯してください。  ●先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

液体洗剤・柔軟剤自動投入機能の使いかた

自動投入時の液体洗剤・柔軟剤の入れかた

自動投入できる洗剤や柔軟剤は液体のみです。
粉末洗剤、おしゃれ着用洗剤、漂白剤は、自動投入タンクに入れないでください。
液体以外の洗剤や柔軟剤を使うときは→(P.24～29)
液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを本体に取り付けた状態で残量の目盛りを確認し、液面が「これ以下」と表示された位置を超えないように液体洗剤や柔軟剤を入れてください。

自動投入部



自動投入部に入れるもの

●液体合成洗剤
液体洗剤タンクに入れてください。

●柔軟剤
柔軟剤タンクに入れてください。

●液体洗剤や柔軟剤がタンクに付着した場合は、湿った布でふき取ってください。
●液体洗剤や柔軟剤の種類によっては、詰め替え用の容量が入りきらないものがあります。
容量を確認してから入れてください。

洗濯・脱水槽に直接入れるもの

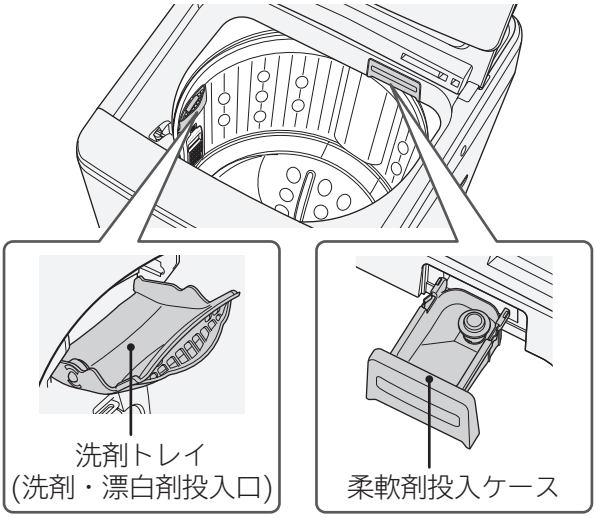
●粉末石けん(天然油脂)→(P.27)
●ジェルボール型洗剤
●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤
●ビーズ仕上剤
●洗濯のり→(P.29)

洗濯機では使えないもの

●重曹
故障の原因になります。

手動投入部

洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)と柔軟剤投入ケースが異なりますので注意してください。→(P.26)



手動投入部に入れるもの

●液体合成洗剤
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れるときは、自動投入の設定を解除してください。
●粉末合成洗剤
●液体中性洗剤
●液体石けん

●柔軟剤
柔軟剤投入ケースに入れるときは、自動投入の設定を解除してください。

●酸素系漂白剤
洗剤と一緒に洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れてください。

●自動投入を使う場合、柔軟剤ケース内に水が流れますが、異常ではありません。
●湿気などで自動投入部ふたや残量表示ピースが結露する場合がありますが、異常ではありません。

自動投入を初めて使うとき、使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき

使用する液体洗剤や柔軟剤に合わせた基準量(水量30Lに対する使用量)の設定が必要です。
液体洗剤と柔軟剤の設定は同時に行うことはできません。

手順

1 切/入 を押し、電源を入れる

2

液体洗剤の基準量を設定するとき

洗剤 を5秒以上押す

基準量が、残時間表示部に表示されます。

柔軟剤の基準量を設定するとき

柔軟剤 を5秒以上押す

基準量が、残時間表示部に表示されます。

表示例　工場出荷時は、基準量 (水量 30L に対する使用量) 10mL が設定されています。



3 容器に記載されている「水量30Lに対する使用量」を確認し、設定する

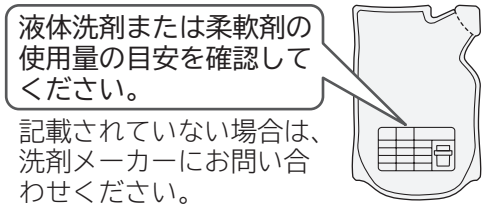
3～30mLまで設定が可能です。

量を減らす場合、 洗剤 **を押す**

量を増やす場合、 柔軟剤 **を押す**

(長押しすると、表示が連続で切り替わります)

液体洗剤・柔軟剤量の目安→**(P.24)**



4 スタート 一時停止 を押す

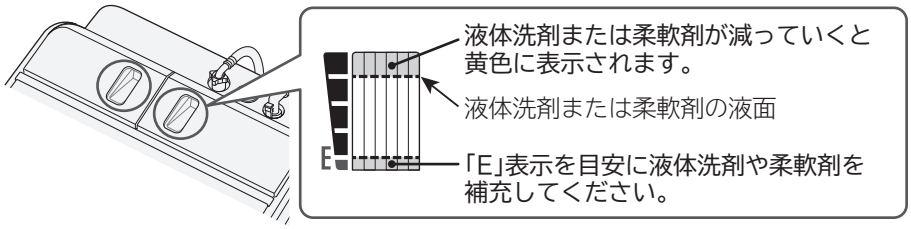
スタートボタンを押すと、設定ができます。

液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき

●先に自動投入部・タンク取付部のお手入れをしてください。
異なる種類が混ざると、自動投入部や経路が詰まる原因になります。

●液体洗剤や柔軟剤の基準量の設定を変更してください。
基準量を設定せずに運転すると、洗濯物の汚れ落ちがわるくなったり、黒ずみ・黄ばみの原因になります。
また、泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。

液体洗剤や柔軟剤の補充の目安



残量が少ない状態で放置すると、液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったり、固まったり分離したりして、溶け残りにより経路が詰まる原因になります。

液体洗剤・柔軟剤自動投入機能の使いかた　つづき

自動投入の設定・解除

洗濯のたびに液体洗剤や柔軟剤を自動で投入します。
液体洗剤や柔軟剤の投入量は「多め」や「少なめ」の設定ができます。

手順

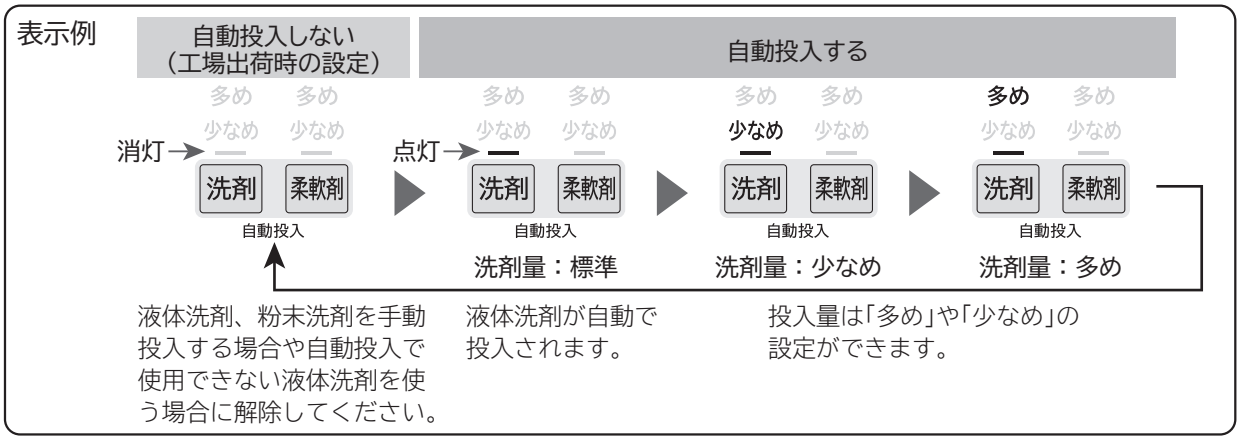
1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 **液体洗剤のみまたは柔軟剤のみを設定することができます。**
設定によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。

液体洗剤を設定・解除する場合

洗剤 **を押す**

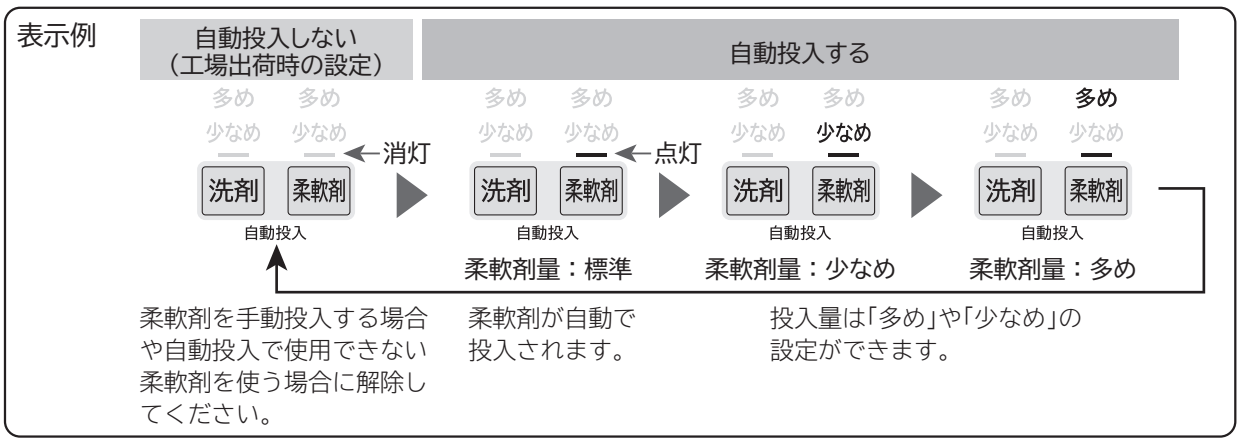
押すごとに表示が切り替わります。



柔軟剤を設定・解除する場合

柔軟剤 **を押す**

押すごとに表示が切り替わります。



3 スタート 一時停止 **を押す**

スタートボタンを押すと、設定が記憶され、運転が開始されます。

使いかた

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた洗剤量(目安)表示後、液体洗剤が自動で投入されます。
(柔軟剤はすすぎ行程時に自動投入されます)
自動投入が設定されていることを確認してください。→(P.22)
設定できるコース→(P.35)

手順

1 1水栓(蛇口)を開ける 2洗濯物を入れる 3電源を入れる

2 洗濯 または 高濃度つけおき を押し、コースを選ぶ

3

手動投入部〔洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)と柔軟剤投入ケース〕に洗剤や柔軟剤を入れないでください。泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。

スタート 一時停止 を押す

かくはん翼が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。



表示例：洗濯物の量を測定中

洗濯物の量に合わせた水量と洗剤量(目安)が表示されます。



表示例：水量62L



表示例：洗剤0.8杯

運転時間(目安)表示に切り替わります。



表示例：1時間30分

洗剤量(目安)の再表示
洗い終了までの間に
洗い を押す



(押している間、洗剤量が表示されます)

4 液体洗剤、柔軟剤が自動投入される

(必要に応じて)ふたを開けて、洗剤量(目安)に従って、
漂白剤を手動投入部〔洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)〕に入れてふたを閉める→(P.26)
ふたを閉めてから、約2分後に給水が始まります。ふたが開いていると給水されません。

5 1ふたを閉める 2運転終了後、洗濯物を取り出す 3お手入れをする

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)のお手入れ

次の場合に、お手入れをしてください。**→(P.58)**

- 2～3か月に一度(目安)
- 使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき
- 自動投入機能を1か月以上使わなかったとき
- タンク取付部に汚れが残っているとき
- 自動投入部ふたを開けたまま放置したときや残量が少ないまま放置したとき
- 自動投入タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったとき

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた

手動投入の設定になっていることを確認してください。→(P.22)

洗濯物の量の計測と洗剤量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた洗剤量が表示されます。

1 **1** 水栓(蛇口)を開ける **2** 洗濯物を入れる **3** 電源を入れる

2 運転するコースを選ぶ

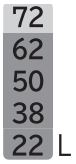
3 **1** スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、右表を参考に洗剤などを入れる

かくはん翼が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。



表示例：洗濯物の量を測定中

洗濯物の量に合わせた水量と洗剤量(目安)が表示されます。



表示例：水量62L



表示例：洗剤0.8杯

運転時間(目安)表示に切り替わります。



表示例：1時間30分

洗剤量(目安)の再表示
洗い終了までの間に
洗い を押す



(押している間、洗剤量が表示されます)

2 ふたを閉める

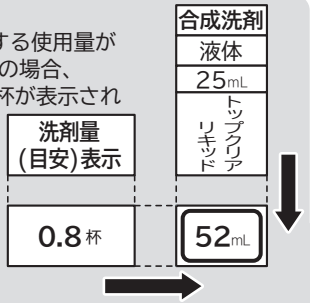
ふたを閉めてから約2分後に給水が始まります。
ふたが開いていると給水されません。

3 運転終了後、洗濯物を取り出す

4 お手入れをする

洗剤・漂白剤・柔軟剤量

【表の見かた】
例えば、水量30Lに対する使用量が25mLの洗剤をお使いの場合、操作パネルに洗剤0.8杯が表示されたとき、約52mLを投入口に入れてください。



洗剤量(目安)表示が表示される

※1 水量はコースによって、手動で設定してください。

水量(手動設定)/洗濯物の量 ※1	洗剤量(目安)表示	
		※2 おしゃれ着用洗剤
72L 約10kg以下	1.0杯	—
62L 約10kg以下	0.8杯	2.0杯
50L 約5kg以下	0.7杯	1.7杯
38L 約3kg以下	0.5杯	1.2杯
22L 約0.5kg以下	0.3杯	0.7杯

「高濃度つけおき360分」コースのとき

38L 約2kg以下	1.0杯	—

「高濃度つけおき360分」コースの洗剤量は、ほかのコースと異なります。

洗剤および洗濯物の量

- ●洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- ●香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後に洗濯・脱水槽のにおいが気になる場合があります。
- ●表の洗濯物の量は、JIS（日本産業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
  洗濯物の量は、最大洗濯容量の7～8割が適当です。

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量の目安を確認し、操作パネルに表示された洗剤量(目安)表示に従って、適量を投入口に入れてください。

※2 おしゃれ着コースでは、液体中性洗剤(毛・絹用)を使用してください。　(2020年10月現在)

合成洗剤							石けん		漂白剤		柔軟剤			
粉末			液体			液体中性	粉末	液体	濃縮	普通	濃縮		普通	
水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)														
18g	30g	36g	10mL	25mL	30mL	40mL	36g	40mL	20mL	40mL	7mL	10mL	16mL	20mL
アタック	トッププラチナクリア	アリエール	アタックZERO ナノックス	トップクリアリキッド アタック	アリエール	おしゃれ着用洗剤※2 エマール・アクロン	そよ風	洗濯用液体複合石けん	ワイドハイター EXパワー ブライトSTRONG	手間なしブライト ワイドハイター	ふんわりソフラン	ハミングファイン ソフラン	レノア	ハミング
43g	72g	86g	24mL	60mL	72mL	96mL	86g	96mL	48mL	96mL	17mL	24mL	38mL	48mL
37g	62g	74g	21mL	52mL	62mL	83mL	74g	83mL	41mL	83mL	14mL	21mL	33mL	41mL
31g	50g	62g	17mL	43mL	50mL	69mL	62g	69mL	35mL	69mL	12mL	17mL	28mL	35mL
23g	38g	46g	13mL	32mL	38mL	51mL	46g	51mL	25mL	51mL	9mL	13mL	20mL	25mL
13g	22g	26g	7mL	18mL	22mL	29mL	26g	29mL	15mL	29mL	5mL	7mL	12mL	15mL
46g	76g	92g	−	−	−	−	92g	−	50mL	−	9mL	13mL	20mL	25mL

●使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤・石けんの容器に記載されている「使用量の目安」や「使用上の注意」をよくご覧になり、正しく使用してください。
　また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。
　記載されていない場合は、洗剤メーカーにお問い合わせください。
●ドラム式洗濯乾燥機と使用量が異なりますので、注意してください。

重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

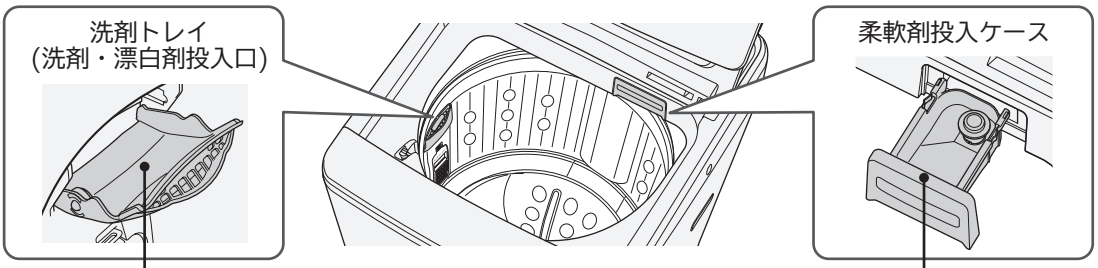
洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた　つづき

自動投入の設定を解除してから、指定の投入口に入れてください。→(P.22)

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

洗剤(粉末・液体)と漂白剤は、同じ投入口です。
柔軟剤は、洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。
指定の投入口に正しく入れてください。
洗剤量(目安)表示に従って入れてください。

洗剤トレイ(洗剤・漂白剤)・柔軟剤投入ケースには、自動投入部に入れるような多量の洗剤は入れないでください。
(運転時に多量の泡が発生して、本体が破損するおそれがあります)



洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)

洗剤残りを防ぐために

- 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)がぬれている場合は、乾いた布でふいてから、洗剤を入れてください。
- 固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。
- 粘性の高い液体洗剤は、水で薄めてから投入口に流し込んでください。

- 漂白剤は、洗濯物に直接かけないでください。
  変色、布破れの原因になります。

柔軟剤投入ケース

- 最大(60mL)量を超えないように入れてください。
  (柔軟剤がすぐに流れ出して洗濯物の変色や黒ずみの原因になります)
- ゼリー状になったもの、粘性の高いもの、固まったものや分離した柔軟剤は使用しないでください。
  (溶け残りにより水漏れの原因になります)
- 柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。
  (柔軟剤が固まってしまう場合があります)
- 運転終了後に柔軟剤投入口内に水が残りますが、異常ではありません。

- 香りの強い柔軟剤、粘性の高いものは、においが気になる場合があります。
  次のことをお試しください。
  ・柔軟剤の使用量を減らしてください。
  ・香りの強い柔軟剤以外をお試しください。
  ・「槽洗浄」コースで、洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.66)**

洗濯・脱水槽に直接入れて使えるもの

- 粉末石けん(天然油脂)**→(P.27)**
- ジェルボール型洗剤
- タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤
- ビーズ仕上剤
- 洗濯のり**→(P.29)**

洗濯機では使えないもの

- 重曹
  故障の原因になります。

漂白剤の種類

使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。

酸化型	**酸素系** (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 **(ハイドロハイター)**	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載されている注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

黒ずみ・黄ばみの原因

- **洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちがわるくなります。**
- **柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。**

黒ずみ・黄ばみを予防したいとき、落としたいときは「高濃度つけおき120分/360分」コースで洗濯することをおすすめします。

また、下記についてもお試しください。

・3倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。

・白物は塩素系漂白剤または還元型漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

【ご注意】

洗濯物を傷める場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや取扱絵表示などを確認してください。

状態によっては完全に直せない場合があります。

石けん(天然油脂)の入れかた (手動投入時のみ)

天然粉末石けんや複合石けんなどの石けん(天然油脂)は、次の方法でよく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)や液体洗剤タンクには入れないでください。液体洗剤自動投入の設定は解除してください。→(P.22)

洗濯・脱水槽で直接溶かす

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 電源を入れる

2

洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ

水量 洗い を押し、水量「22L」、洗い「3分」を設定する

3

1 スタート 一時停止 を押し、運転する

2 給水後、かくはんが始まったら、スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

3 石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、スタート 一時停止 を押し、運転を再開する

4 運転終了後、洗濯物を入れる

5 コースを選ぶ

6 スタート 一時停止 を押し、運転する

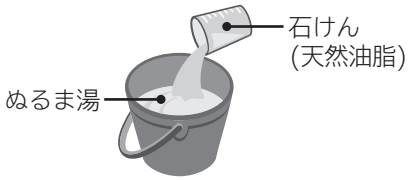
(洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります)

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた　つづき

バケツなどで溶かす

1 バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する

2 ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす
石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。



3 洗濯物を入れ、コースを選ぶ

4 スタート 一時停止 を押し、運転する

5 溶かした石けん液を、洗濯・脱水槽に直接入れ、運転を続ける



次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●予約運転のとき
洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「高濃度つけおき120分/360分」コースのとき
これらのコースでは、つけおき洗いを行うため、洗剤かすが付着しやすくなり黒ずみや黄ばみの原因になります。

●使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすが洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。
●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。
すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因になることがあります。
●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.66)**
●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかすの発生を抑えることができます。
●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かす」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。

洗濯のりの使いかた

脱水運転終了後の洗濯物に、のり付けするときの手順を説明します。

使用できる洗濯のり（手動投入時のみ）

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限ります。

上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。
成分表にPVA(ポリビニルアルコール)と記載されている洗濯のりは使用しないでください。
十分なのり付けができない場合や本体の故障の原因になることがあります。

液体洗剤自動投入の設定は解除してください。→(P.22)

のり付け運転の手順

のりを溶かす

1. 切/入 を押し、電源を入れ、 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ
2. 水量 洗い を押し、水量「22L」、洗い「3分」を設定する
3. スタート 一時停止 を押し、運転する
4. 給水後、かくはんが始まったら、 スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する
5. 洗濯・脱水槽に洗濯のりを直接入れ、 スタート 一時停止 を押し、運転を再開する
   運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。

のり付けをする

6. のり付けする洗濯物(3kg以下)を入れる
   ぬれた洗濯物の量と重さの目安 →(P.18)
7. 切/入 を押し、電源を入れ、 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ
8. 水量 洗い 脱水 を押し、水量「50L」、洗い「5分」、脱水「1分」を設定する
9. スタート 一時停止 を押し、運転する
10. 運転終了後、洗濯物を取り出す

洗濯・脱水槽をすすぐ

短い時間ですすぎたいとき

11. 切/入 を押し、電源を入れ、 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ
    洗剤、洗濯物は入れないでください。
12. 水量 を押し、「72L」を設定する
13. スタート 一時停止 を押し、運転する

念入りにすすぎたいとき

11. 切/入 を押し、電源を入れ、 洗濯 を押し、「槽洗浄(3時間)」コースを選ぶ→(P.66)
    洗剤、洗濯物は入れないでください。
12. スタート 一時停止 を押し、運転する

風呂水を使う(お湯取運転)

洗濯運転時の行程ごとに、使用する水を、風呂水と水道水から選ぶことができます。

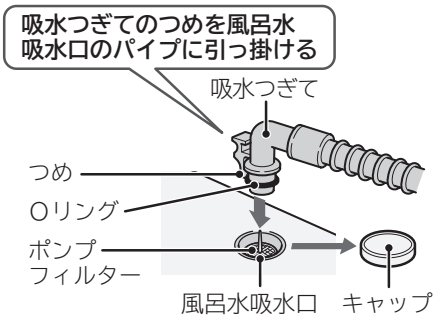
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた

お湯取運転をするときは、付属品のお湯取ホースとクリーンフィルターを取り付けてください。

1 風呂水吸水口のキャップを外す

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

- ●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- ●Oリングを外したり、傷つけたりしないでください。外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。
- ●風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。



3 クリーンフィルターを浴槽に入れる

お湯取ホースの長さ調節

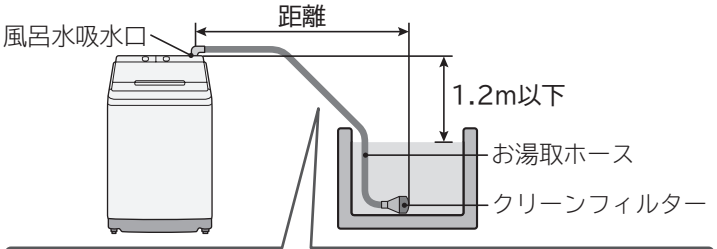
お湯取ホースの先端を浴槽に入れ、お湯取ホースの長さを調節する

- ●付属品のお湯取ホースは約4mです。付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売り部品のお湯取ホースをお買い求めください。
- ●風呂水吸水口からクリーンフィルターまでの距離が3m以内になるように、お湯取ホースの先端側をはさみやカッターで切断します。

お湯取ホースにクリーンフィルターを回しながら取り付ける

お湯取ホースの内側を水でぬらすと差し込みやすくなります。





吸水中は、水の重さによりお湯取ホースが垂れ下がり、クリーンフィルターが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。

別売り部品の場合 →**(P.78)**

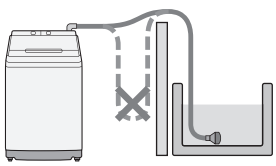
お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約5m	4m以内

- ●約7mホース(クリーンフィルターなし)
  部品番号 BW-DX100F-004
- ●約5mホース(クリーンフィルター付き)
  部品番号 BW-DX100F-005

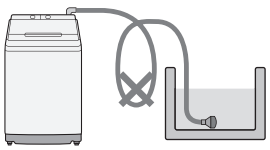
お湯取ホース使用時のご注意

お湯取運転を始める前に、お湯取ホースが正しく取り付けられていることを確認してください。
正しく取り付けられていないと、風呂水が吸水されなくなり、水漏れの原因になります。

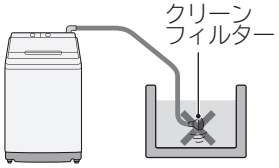
高い壁を越えるときは、たるみをなくす



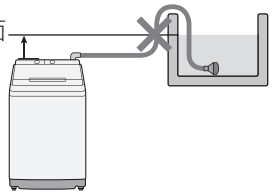
お湯取ホースは巻いたまま使わない



クリーンフィルターが浮き上がらないようにする



風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない



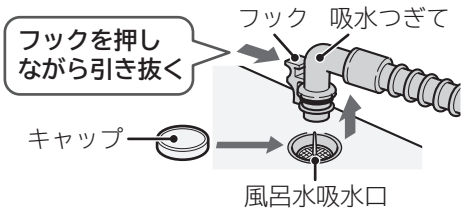
お湯取ホースの取り外しかた

お湯取ホースを使用しないときは、本体から取り外しておくことをおすすめします。

1 浴槽からクリーンフィルターを取り出す

2 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたまま、お湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、洗濯物をぬらすおそれがあります。



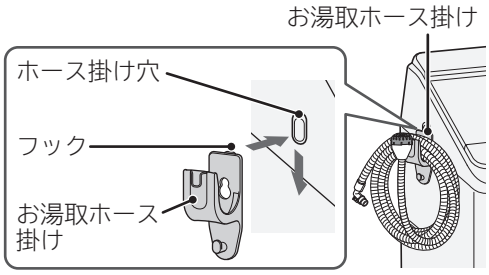
3 風呂水吸水口のキャップを取り付ける

4 クリーンフィルター部を上向きにして、お湯取ホース掛けにかける

お湯取ホースやクリーンフィルター内の残水は排水してください。床面をぬらすおそれがあります。

お湯取ホース掛けの使いかた

お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて、止まるまで押し下げてください。
本体の左右どちらでも取り付けられます。

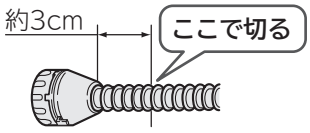


クリーンフィルターの取り外しかた

クリーンフィルターは、一度取り付けると手で簡単に外せません。
お湯取ホースの長さ調節のために、クリーンフィルターを取り外すときは、次の手順に従ってください。

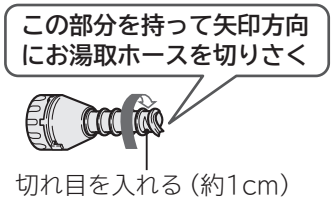
1 お湯取ホースを切断する

クリーンフィルターの根元から約3cmの所でお湯取ホースを切断します。



2 クリーンフィルターに付いているお湯取ホースを取り除く

お湯取ホースの先端に約１cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらお湯取ホースを取り除きます。



風呂水を使う(お湯取運転) つづき

お湯取運転の設定

お湯取運転をするときも、水栓(蛇口)を開けてください。風呂水ポンプの吸い上げ運転の際、一定量の水(呼び水)の給水が必要になるため、お湯取運転時にも水道水が使われます。

1 **水栓(蛇口)を開け、[切/入]を押し、電源を入れる**

2 **[洗濯]または[高濃度つけおき]を押し、コースを選ぶ**

「デリケート」「おしゃれ着」コースでは、お湯取運転の設定ができません。

3 **[お湯取]を押し、お湯取運転したい行程の表示を点灯させる**

押すごとに表示が切り替わります。

清水すすぎを設定する→(P.33)

次のようなお湯取運転の設定はできません。
- 洗い行程を水道水に設定した場合のすすぎ行程
- 「ナイアガラすすぎ」のすすぎ行程

パネルの表示	行程内容
洗い すすぎ1 すすぎ2 全点灯	「洗い」から「すすぎ2」(2回目)まで風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」「すすぎ1」点灯	「洗い」と「すすぎ1」(1回目)を風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」のみ点灯	「洗い」のみ風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 全消灯	風呂水吸水(お湯取)しません。

4 **[スタート 一時停止]を押し、運転する**

●設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●工場出荷時は「お湯取運転の設定を記憶しない」が設定されています。変更した内容を次回運転時まで記憶させたい場合は、「お湯取運転の設定を記憶する」に切り替えてください。**→(P.33)**

運転中に変更させる場合

1 洗いやすすぎの給水中に[スタート 一時停止]を押し、運転を一時停止する

2 [お湯取]を押し、お湯取運転したい行程の表示に変更する

回転シャワーすすぎを運転しているとき、または洗いやすすぎ行程で、設定水量に達してから1分後以降は、お湯取運転の設定はできません。

3 [スタート 一時停止]を押し、運転を再開する

お湯取運転中の注意

風呂水の吸水状態により、水道水運転よりも運転時間が長くなることがあります。お湯取運転中に風呂水がなくなると、自動で水道水給水に切り替わり、お湯取の表示がすべて消灯します。

- 「注水すすぎ」を設定した場合は、すすぎ行程で設定水量に達してからは、水道水が給水されます。
- 風呂水ポンプが作動しても、風呂水を吸い上げ始めるまでに1～3分間かかります。
  お湯取ホース内の空気を抜くためです。
- 運転途中で風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、風呂水ポンプが作動してから約7～23分後に自動で水道水給水に切り替わるため、運転時間が長くなります。
  水道水に切り替わったあとの運転は、すべて水道水が給水されます。
- 発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を入れた風呂水は使用しないでください。
  吸水されない場合があります。
- 自動投入を設定した場合は、水道水の給水量が増えます。

お湯取運転の設定を記憶させる手順

お湯取運転の設定を次回運転時まで記憶する／しないを切り替えることができます。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 お湯取 **を3秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
「設定を記憶する」を設定すると、次回電源を入れたときも、お湯取運転の設定になっています。

8.8 -	**設定を記憶しない (工場出荷時の設定)**	「ピー」音で お知らせします
8.8 P	**設定を記憶する**	「ピッ」音で お知らせします

3 切/入 **を押し、電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

「清水すすぎ」を設定する手順

最後のすすぎ行程を「お湯取」に設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転を行います。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗濯 **を押し、「標準」コースを選ぶ**

3 洗い すすぎ 脱水 **を押し、すべての表示を消す**

洗い「なし(表示を消す)」、すすぎ「なし(表示を消す)」、脱水「なし(表示を消す)」を設定します。

4 お湯取 **を3秒以上押す**

設定完了を表示と音でお知らせします。

8.8 0	**設定なし (工場出荷時の設定) (清水すすぎは行いません)**	「ピー」音で お知らせします
8.8 1	**設定あり**	「ピッ」音で お知らせします

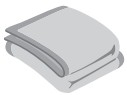
5 切/入 **を押し、電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

●清水すすぎに使用する水道水は約6Lです。ためすすぎにはなりません。

●最終すすぎに水道水を設定した場合は、清水すすぎは行いません。

運転コースの選びかた

洗いかたと洗濯物の種類			コース	洗濯・エアジェットできる最大容量
普段の洗濯物を洗う	・パジャマ ・肌着など		標準 →(P.36)	10kg
軽い汚れを短時間に洗濯する	・パジャマ ・肌着など		おいそぎ →(P.36)	5kg
自分でコースを造る	・普段の洗濯物		手造り →(P.36)	10kg
汚れが多いときや厚手の衣類を洗う	・トレーナー ・靴下など		念入り →(P.36)	10kg
表示のあるデリケートな衣類を弱水流で洗う	・ランジェリー ・ストッキングなど		デリケート →(P.37)	3kg
Ⓟ表示のある衣類を形くずれを抑えながら洗う	・スカート ・セーターなど		おしゃれ着 →(P.38)	3kg
脱水時間を長くすることで洗濯物の干し時間を短縮	・普段の洗濯物		部屋干し 30分、60分 →(P.40)	10kg
毛布や掛け布団などを洗う	・アクリル毛布 ・掛け布団 ・ベットパッドなど		毛布 →(P.41)	毛布：4.7kg 掛け布団：1.8kg
大切な衣類の黄ばみを予防する	・ワイシャツなど		高濃度つけおき 120分 →(P.44)	5kg
ガンコな汚れや黄ばみを落とす	・靴下など		高濃度つけおき 360分 →(P.44)	2kg
熱に弱い素材(化繊)の干し時間を短縮	・ランジェリーなど		エアジェット →(P.45)	化繊：3kg

組み合わせ可能な機能(運転内容)

洗いかたに関する機能			そのほかの機能			
ナイアガラすすぎ →(P.46)	注水すすぎ →(P.46)	高速脱水 →(P.53)	液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)
	注水すすぎ →(P.46)	高速脱水 →(P.53)	液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)
ナイアガラすすぎ →(P.46)	注水すすぎ →(P.46)	高速脱水 →(P.53)	液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)
ナイアガラすすぎ →(P.46)	注水すすぎ →(P.46)	高速脱水 →(P.53)	液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)
	注水すすぎ →(P.46)		液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)			
			柔軟剤自動投入 →(P.20)			
ナイアガラすすぎ →(P.46)	注水すすぎ →(P.46)		液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)
		高速脱水 →(P.53)	液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)		予約 →(P.47)
ナイアガラすすぎ →(P.46)	注水すすぎ →(P.46)	高速脱水 →(P.53)	液体洗剤・柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)
ナイアガラすすぎ →(P.46)	注水すすぎ →(P.46)	高速脱水 →(P.53)	柔軟剤自動投入 →(P.20)	風呂水お湯取運転 →(P.30)	自動おそうじ →(P.45)	予約 →(P.47)

ナイアガラすすぎ たっぷりの水を使ってすすぎ、高速脱水を行い、洗剤を落とします。いつも以上にしっかりすすぎたいときにおすすめです。

注水すすぎ 給水と排水を繰り返し、常に水を入れ替えながらすすぎます。

液体洗剤・柔軟剤自動投入 洗濯のたびに液体洗剤や柔軟剤を自動で投入します。

自動おそうじ 洗濯・脱水槽の裏側などの見えない部分に付着しやすい汚れなどを、水道水を使用して自動で洗い流します。

標準コース・おいそぎコース・念入りコース

普段の洗濯物を洗濯するコースです。
軽い汚れを短時間に洗濯したいときは、「おいそぎ」コース、
汚れが多いときには、「念入り」コースをおすすめします。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1 1 水栓(蛇口)を開ける 2 洗濯物を入れる 3 電源を入れる

2 洗濯 を押し、「標準」または「おいそぎ」、「念入り」コースを選ぶ

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)
お好みの設定で運転する→(P.48～51)

3 1 スタートボタンを押す
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 ふたを閉める 3 運転終了後、洗濯物を取り出す 4 お手入れをする

手造りコース(自分でコースを造る)

お好みの運転内容を、変更して記憶させることができます。
工場出荷時の初期設定は、「標準」コースが設定されています。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1 1 水栓(蛇口)を開ける 2 洗濯物を入れる 3 電源を入れる

2 洗濯 を押し、「手造り」コースを選ぶ

水量 洗い すすぎ 脱水 を押し、お好みの運転内容を設定する→(P.48～51)

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)

3 1 スタートボタンを押す
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 ふたを閉める 3 運転終了後、洗濯物を取り出す 4 お手入れをする

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。

デリケートコース

水をたっぷり使い、弱水流で衣類を泳がせるように洗うコースです。

表示のデリケートな衣類は、「デリケート」コース以外で運転すると洗濯物を傷める場合があります。

洗濯できるもの

取扱絵表示

上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。→ **(P.16)**

容量・水量

洗濯物の量	水量
3kg以下	72L、62L
1kg以下	50L
0.5kg以下	38L
0.3kg以下	22L

使用する洗剤

液体中性洗剤または液体合成洗剤

使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。
液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

運転動作

洗い
かくはん翼の回転による洗濯・脱水槽の回転・反転水流で洗います。

▶ **すすぎ(ためすすぎ)**
水をためて、槽反転します。

▶ **排水・脱水**
排水して、脱水します。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

2 洗濯 **を押し、「デリケート」コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)
お好みの設定で運転する→(P.48～51)
洗濯物の量に合わせた「水量」を設定してください。

3 **1 スタートボタンを押す**
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量は、自動計測されません。
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。

2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

おしゃれ着コース

遠心力による押し洗いで、衣類に水を通過させ、形くずれを抑えながら洗うコースです。
また、「脱水」のみも設定できます。(低速で回転する脱水を行います)

Ⓟ表示の衣類は、「おしゃれ着」コース以外で運転すると洗濯物を傷める場合があります。

洗濯できるもの	洗濯できないもの
取扱絵表示 Ⓟ Ⓟ 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。 **→(P.16)** ウール、カシミアなどのセーター、カーディガン類 スーツ、ジャケット(ウォッシャブル)、スラックス、スカート、学生服類 ブラウス、ワンピース、シャツ、ランジェリー類 	**取扱絵表示** Ⓕ Ⓕ 表示のものは、洗濯機で洗濯できません。

容量・水量

洗濯物の量	水量
3kg以下	62L
2kg以下	50L
1kg以下	38L
0.4kg以下	22L

使用する洗剤 **おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)**
液体洗剤以外は使用しないでください。
液体洗剤は自動投入されません。
粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

- お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
  洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。
- おしゃれ着コースで洗濯できるもの以外は洗わないでください。
  脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
- 衣類の形くずれを抑える目的で脱水を弱めにしているため、
  セーターなど水を含みにくい衣類では、脱水ムラが生じる場合があります。

運転動作

洗い
かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽反転水流と休止を繰り返して段階的に給水しながら洗います。

▶

すすぎ(ためすすぎ)
排水・脱水し、給水後、洗濯・脱水槽を回す弱い槽反転後、つけおきのため休止します。

▶

排水・脱水
排水して、弱めに脱水します。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)
柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)
液体洗剤は自動投入されません。

1 1 水栓(蛇口)を開ける 2 洗濯物を入れる 3 電源を入れる

2 洗濯 を押し、「おしゃれ着」コースを選ぶ

液体洗剤の自動投入は設定できません。
お好みの設定で運転する→(P.48～51)
洗い時間は「19分(表示は15分)」と「なし(表示を消す)」が設定できます。
●洗濯物の量に合わせた「水量」を設定してください。→(P.38)
●低速で回転する脱水を行うため、干すときに洗濯物から水が垂れるおそれがあります。
気になる場合は、脱水時間を変更してください。

3 1 スタートボタンを押す

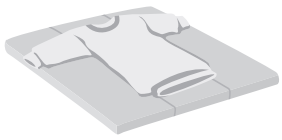
表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量は、自動計測されません。
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)は、おしゃれ着用洗剤をご覧ください。→(P.24)

2 ふたを閉める 3 運転終了後、洗濯物を取り出す 4 お手入れをする

衣類の干しかた

**シャツやスラックスなどは、しわを伸ばし形を整えて
ハンガーにかけて干してください。**
ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせてご使用ください。

ニットなどは、形を整えて平干ししてください。
平干し用のネットや木製以外の風呂のふたなどを使って平干しにすると
形くずれが防げます。

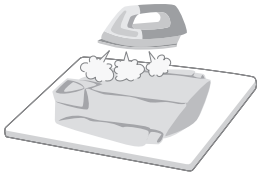


衣類が縮んだとき

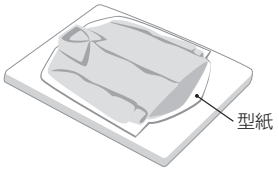
素材、織りかた、厚さ、形態によって水につけるだけで縮むものもあります。
取扱絵表示、素材表示を確認してください。

縮みや形くずれの直しかた
ウールは縮みやすい衣類です。もし縮んだ場合は、次の方法である程度元のサイズに戻ることがあります。
洗濯後、縮んでしまったときのために元の形に修正するための型紙を取っておくと便利です。

スチームアイロンを軽く浮かせて
スチームをかけ形を整えます。



スチームをたっぷりあてたあと、
洗濯前に取っておいた型紙に合わせ
て元の形に伸ばし、形を整えます。



部屋干しコース

屋内や雨天時など、洗濯物が乾きにくい環境で、吊り干しするときにおすすめのコースです。
また、通常運転よりも早く乾かしたいときなどにもおすすめのコースです。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1

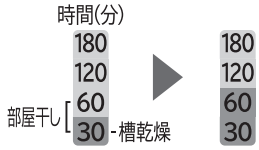
1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

洗濯 を押し、「部屋干し(30分)」コースを選ぶ

もう一度 洗濯 を押すと、「部屋干し(60分)」コースになります。

表示例



3

1 スタートボタンを押す

手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

干しかたのポイント

- 運転が終了したら、なるべく早めに洗濯物を取り出してください。
  (衣類のしわや形くずれの抑制、においの抑制に効果的です)
- 洗濯物どうしの間隔を10cm以上とると乾きやすくなります。
- エアコンや除湿機、扇風機を組み合わせて使用すると乾きやすくなります。
- 扇風機で風を当てることで、湿った空気が乾いた空気と入れ替わるため、早く乾きます。
- エアコンや除湿機を使用しない場合、換気すると乾きやすくなります。

毛布コース

毛布など大物の洗濯物を、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流で傷みにくく洗うコースです。
洗濯運転中に洗濯物が浮いてしまうことを防ぐため、別売り部品のお洗濯キャップが必要になる場合があります。
取扱絵表示のないもの、防水性のものは洗わないでください。

別売り部品のお洗濯キャップを使用するときの目安を確認する

毛布

容量	お洗濯キャップ
2.8～4.7kg	**使用する**
2.8kg以下	**必要に応じて使用する**

掛け布団

容量	お洗濯キャップ
1.8kg以下	**使用する**

2.8kg以下でも、水に浮きやすい素材や軽いベッドパッド、カーテンなどは、お洗濯キャップを使用してください。

お洗濯キャップを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。
その場合は、保証の対象外になります。(洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります)

洗濯できるもの

取扱絵表示 または があるもの

使用する洗剤 **液体合成洗剤または液体中性洗剤**

使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。
液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

毛布

素材 **化繊**（ポリエステル、アクリル）**または綿**

容量 **4.7kg以下**
※サイズの目安
ダブルサイズ　：幅180cm×長さ210cm
シングルサイズ：幅140cm×長さ210cm

掛け布団

素材 **詰め物素材が化繊**（ポリエステル）**または羽毛**

容量 詰め物素材が化繊の場合 **1.8kg以下**
詰め物素材が羽毛の場合 **1.4kg以下**
※サイズの目安
ダブルサイズ　：幅190cm×長さ210cm
シングルサイズ：幅150cm×長さ210cm

洗濯できないもの

毛布

素材
- **羊毛**（ウール）**やカシミヤ素材のもの**
- **電気毛布**
  洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。
- **異なる素材・大きさのもの**
  (2枚以上の場合)

掛け布団

素材
- **詰め物素材が羊毛**（ウール）**のもの**
- **カバー素材が絹のもの**
- **カバー素材が防水性のもの**

毛布コース　つづき

運転動作

洗い
かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流で洗います。(約25分間)

▶

すすぎ(ためすすぎ)
排水・脱水、給水し洗濯・脱水槽が回転します。

▶

排水・脱水
排水して、脱水します。

手順

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

2 洗濯 **を押し、「毛布」コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)
お好みの設定で運転する→(P.48～51)

3 **1 スタートボタンを押す**
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量は、自動計測されません。
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。
2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

掛け布団のえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗り、もみ洗いなどして汚れを落としてください。

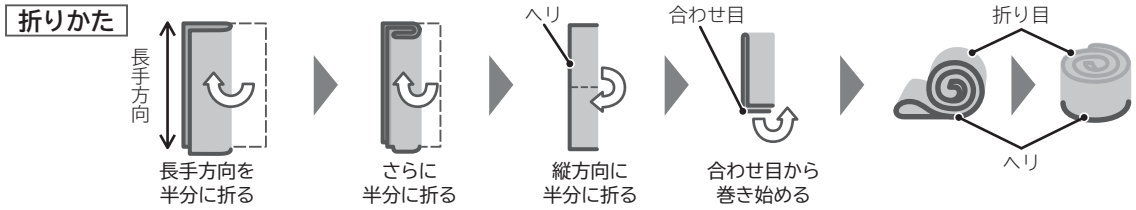
⚠注意

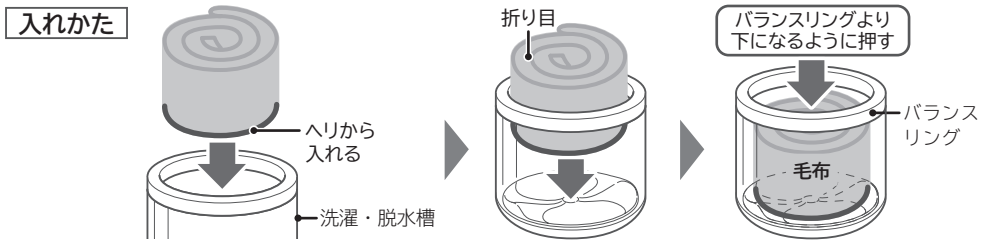
禁止

異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)
●毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れないでください。
折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。



毛布・掛け布団の折りかた・入れかた



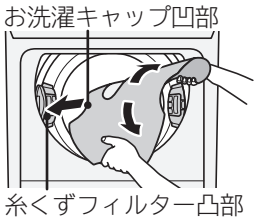


毛布のヘリを下にして洗濯・脱水槽に入れないと、運転中に毛布を傷める場合があります。

別売り部品のお洗濯キャップの取り付けかた・取り外しかた

【取り付けかた】

お洗濯キャップの凹部を中心に折り曲げ、糸くずフィルターの凸部を合わせて入れる
(お洗濯キャップの文字面を上にして入れてください)



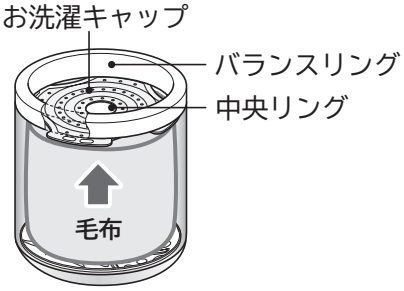
【取り外しかた】

お洗濯キャップの端(糸くずフィルター側)を下に押し込み、中央リング部を持って引き出す



お洗濯キャップの位置は、右記を参考にしてください。

バランスリングのすぐ下まで引き上げる



●お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、指や腕を挟まないよう注意してください。
●お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、お洗濯キャップが洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)や糸くずフィルターに当たらないように注意してください。
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)や糸くずフィルターが外れたり、破損したりするおそれがあります。

毛布・掛け布団の干しかた

風通しのよいところで自然乾燥させます。

●毛布　：湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
●掛け布団　：時々裏返すと乾きやすくなります。また、詰め物をつまんでほぐすとふっくら仕上がります。
●羽毛の掛け布団：詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください。
●カーテン　：レールにかけて形を整えて干すと、しわが伸びてきれいに仕上がります。
カーテンから水滴が垂れる場合は、床にタオルなどを敷いてください。

高濃度つけおき120分コース

衣類の黄ばみの予防にお使いいただけるコースです。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

高濃度つけおき を押し、「高濃度つけおき120分」コースを選ぶ

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)
お好みの設定で運転する→(P.48～51)

3

1 スタートボタンを押す
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

高濃度つけおき360分コース

頑固な汚れや黄ばみを落とすのにお使いいただけるコースです。
粉末洗剤がおすすめです。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)
柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)
液体洗剤は自動投入されません。

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

高濃度つけおき を押し、「高濃度つけおき360分」コースを選ぶ

液体洗剤の自動投入は設定できません。
組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)
お好みの設定で運転する→(P.48～51)

3

1 スタートボタンを押す
表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量は、自動計測されません。
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。

2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

エアジェットを使う

洗濯した化繊の衣類の水分を飛ばし、干す時間を短縮します。洗濯は行いません。

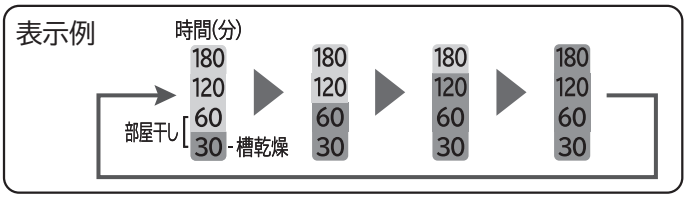
素材 化繊(アクリル、ポリエステル)　　**容量** 3kg以下

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)

1 1 脱水後の洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる　2 電源を入れる

2 エアジェット を押し、
30/60/120/180分から
時間を選ぶ



3 1 ふたを閉める　2 スタートボタンを押す
3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

●洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水してから運転してください。→(P.49)
●運転中は十分に換気をしてください。

自動おそうじを使う

洗濯・脱水槽の裏側などの見えない部分に付着しやすい汚れなどを、水道水を使用して自動で洗い流します。よりきれいに洗濯をするために、設定することをおすすめします。
また、「槽洗浄」コースを併用することで、気持ちよくお使いいただけます。→(P.66)

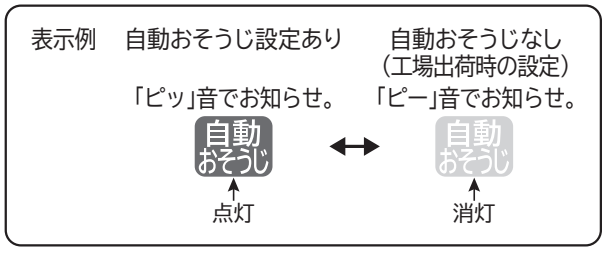
手順

設定できるコース→(P.34)

1 電源を入れる

2 高濃度つけおき を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
一度の設定で、毎回作動します。



3 電源を切る

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●「自動おそうじ」は洗濯運転中に自動で作動します。単独で作動させることはできません。
●手動で「脱水」のみ、脱水「1分」または「脱水なし(表示を消す)」に設定した場合は、「自動おそうじ」は自動で解除(消灯)されます。
●「自動おそうじ」を設定すると、運転時間と使用水量が増えます。

ナイアガラすすぎ・注水すすぎを使う

「ナイアガラすすぎ」は、複数回すすぎを行うことで繊維の奥の洗剤をすすぎます。
「注水すすぎ」は、最高水位まで水をためてから汚れた水を入れ替えてすすぎます。
お好みに合わせてお使いください。

手順

設定できるコース→(P.34)
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

洗濯 または 高濃度つけおき を押し、コースを選ぶ

すすぎ を押し、「ナイアガラ」または「注水」を設定する

「標準」コースで「ナイアガラ」を設定する場合

洗い と 脱水 をそれぞれ押して再設定する

「ナイアガラすすぎ」は、自動で「2回」が設定されます。「注水すすぎ」は、手動で設定します。

3

1 スタートボタンを押す
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。

2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

- 運転終了後、「ナイアガラすすぎ」と「注水すすぎ」の設定は自動で解除されます。運転のたびに設定してください。「手造り」コースの場合は、設定が記憶されます。
- 給水の水圧が低いと最高水量になるまでに時間がかかり、「注水すすぎ」中に排水動作をしない場合があります。
- 「ナイアガラすすぎ」と「注水すすぎ」は、水をためてすすぐ「ためすすぎ」と運転動作が違うため、運転時間と使用水量が増えます。

予約運転をする

運転を終了したい予定時間を1時間単位で3～24時間後までの間で設定することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

予約ボタンの使いかた(切り替え内容)

予約時間とは、運転終了予定時間です。

「標準」「おいそぎ」「手造り」「念入り」「部屋干し」「毛布」「高濃度つけおき120分」コース：3～24時間後まで設定可能
「高濃度つけおき360分」コース：7～24時間後まで設定可能

予約 **を押すごとに設定が切り替わります。**
(長押しすると、予約時間が連続で切り替わります)

表示例　今から3時間後に運転を終了させたい場合



こんなときには

予約内容の確認： 予約 **を押す**(押している間、予約運転の内容が表示されます)

予約の取り消し： 切/入 **を押し、電源を切る**(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更　： 切/入 **を押し、電源を切り、初めからやり直す**

衣類の追加　：電源を切らずに、洗濯物を入れる(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。
洗濯物を入れ過ぎると汚れ落ちがわるくなる原因になります)

- ●洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了時間が変わることがあります。
- ●予約運転をするときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- ●洗濯物のしわを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
  洗濯物を入れたままにしておくと、においの原因になります。
- ●予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。

手順

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.22)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

洗濯 **または** 高濃度つけおき **を押し、コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.35)
お好みの設定で運転する→(P.48～51)

予約 **を押し、運転終了予定時間を設定する**

3

1 スタートボタンを押す
手動投入する場合は、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる
洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

運転内容を表示したあと、「予約」のみが表示します。

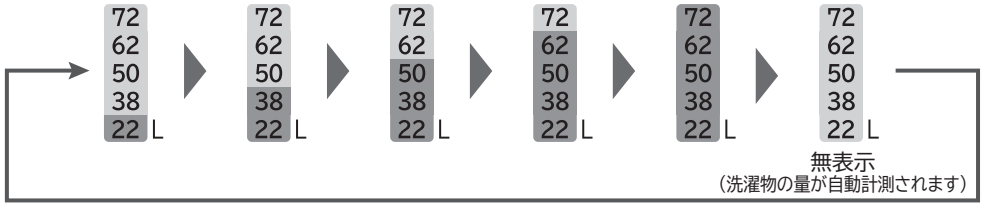
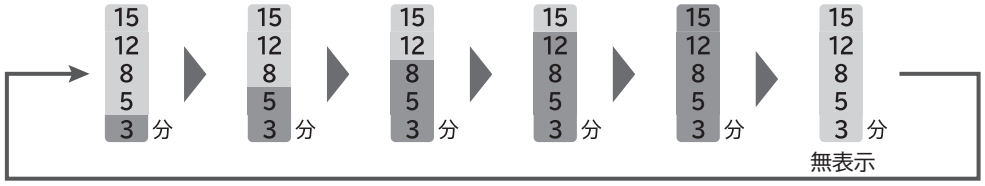
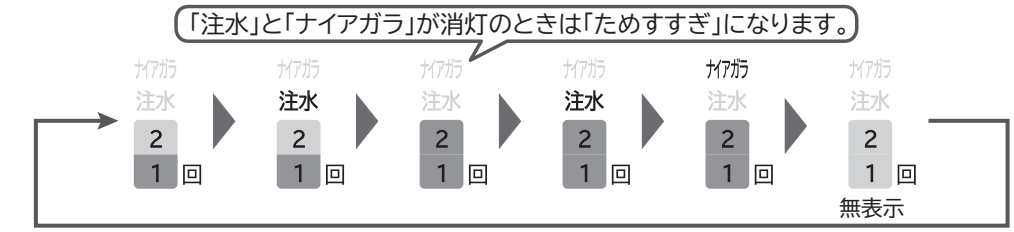
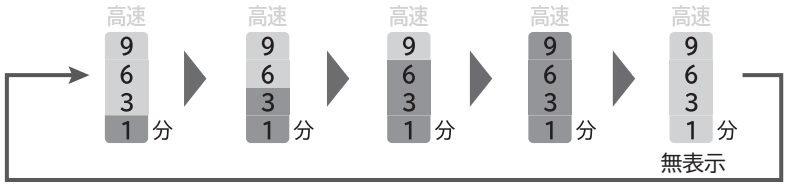
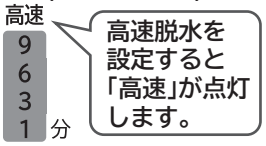
お願い

ジェルボール型洗剤は使用しないでください。
洗濯・脱水槽などに水分が残っていると、ジェルボールのフィルムが溶け、洗剤液が直接洗濯物に触れる可能性があり、長時間経過するとしみになるおそれがあります。

お好みの設定で運転する

水量・洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する

各行程を押すごとに、設定を変更することができます。
コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.50)

ボタン	パネル表示
水量	
洗い	
すすぎ	 ためすすぎ：水をためて、すすぎます。 注水すすぎ・ナイアガラすすぎ→(P.46)
脱水	 高速脱水設定の表示例 (高速脱水9分) 

水量を手動で変更する

「標準」コースの自動設定の水量は、22～62Lで表示されます。
コースによっては、次の手順で水量を手動で「72L」に設定できます。

1. 電源を入れる
2. 洗濯 を押し、コースを選び 水量 を押し、「72L」を設定する
3. スタートボタンを押す

水を足したい場合

●洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。
押し続けている間は給水されます。(各コースの最高水量以上は給水しません)
●おしゃれ着コースでは、給水されません。

「脱水」のみなどの個別運転をする

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
設定内容は記憶されないので、よく使う運転内容は「手造り」コースに登録すると便利です。→(P.36)

手順

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

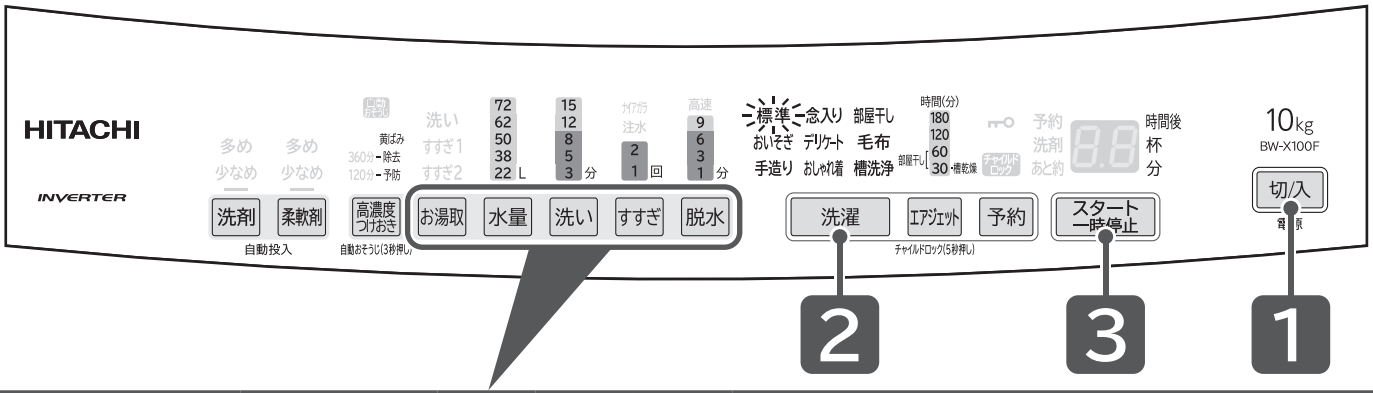
洗い、すすぎを設定するときは、水栓(蛇口)を開けてください。

2 **洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ**

脱水 を押し、お好みの脱水時間を設定する

3 **スタートボタンを押す**

設定中に「脱水」を3秒以上押すと、高速脱水が設定されてしまいます。
解除するには、再度「脱水」を3秒以上押してください。



運転内容の設定	2 水量	洗い	すすぎ	脱水	お湯取	備考
脱水のみ※1				脱水		お好みの脱水時間を設定してください。(1分、3分、6分、9分)
排水のみ※1				脱水		1分を設定してください。洗濯・脱水槽が回転します。
洗いのみ	水量	洗い				洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
すすぎのみ	水量		すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**すすぎ**	水量	洗い	すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**脱水**	水量	洗い		脱水		—
すすぎと**脱水**	水量		すすぎ	脱水		—
水道水をためる	水量	洗い				「洗い」を数回押して、洗い・すすぎ・脱水の表示をすべて消し、お好みの「水量」のみ設定してください。洗濯・脱水槽に水がたまったまま停止します。
風呂水をためる	水量	洗い			お湯取	洗濯・脱水槽に風呂水がたまったまま停止します。

※1：「脱水」のみ、「排水」のみを設定したとき、残時間が設定時間よりも長く表示されます。
(脱水の前に排水するため、時間がかかります)

お好みの設定で運転する　つづき

運転内容と変更できる内容

：標準設定内容　：各ボタンで切り替えできる内容

コース	水量	洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標準	22～62L	8分	回転シャワー1回※1	ため
	22～72L	3～15分	ため1～2回、注水1～2回、ナイアガラ	
ナイアガラすすぎ設定時	22～72L	3～15分	ナイアガラ	
おいそぎ	22～50L	3分※2、5分	ため	―
	22～72L	3～15分	ため1～2回、注水1～2回	
手造り	22～62L	8分	ため	ため
	22～72L	3～15分	ため1～2回、注水1～2回、ナイアガラ	
念入り	22～72L	18分 (表示は15分)	回転シャワー1回※1	ため
	22～72L		ため1～2回、注水1～2回、ナイアガラ	
デリケート	62L	8分	ため	ため
	22～72L	3～15分	ため1～2回、注水1～2回	
おしゃれ着	62L	18分 (表示は15分)	ため	ため
	22～62L		ため1～2回	
部屋干し 30分、60分	22～72L	8分	回転シャワー1回※1	ため
	22～72L	3～15分	ため1～2回、注水1～2回、ナイアガラ	
毛布	72L	25分 (表示は15分)	ため	ため
	22～72L			
高濃度つけおき 120分	22～62L	128分 (表示は15分)	回転シャワー1回※1	ため
	22～72L		ため1～2回、注水1～2回、ナイアガラ	
高濃度つけおき 360分	38L	368分 (表示は15分)	ため	ため
			ため1～2回、注水1～2回、ナイアガラ	
エアジェット	―	―	―	

※1「風呂水」設定時または、すすぎを再設定した場合は、ためすすぎになります。

所要時間の目安

所要時間の目安は、運転内容を変更した場合、実際の時間と異なります。

●所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。
(本体の残時間表示と上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)

●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。

●残時間は1分ごとに減っていきます。ただし、運転途中で補正しながら表示されるので、残時間が増える場合があります。

●標準洗濯容量の7割以下で洗濯した場合、最終脱水終了後に洗濯物をほぐすための「ほぐし脱水」を行います。
そのため、所要時間が約1～3分長くなります。
(「標準」「おいそぎ」「手造り」「念入り」「部屋干し(30/60分)」「高濃度つけおき(120/360分)」コース)

●( )は手動で切り替え設定したときの所要時間の目安です。

脱水 洗濯	エアジェット	所要時間の目安 （実際の時間とは異なります）
6分 1～9分	―	35分 約(20～100分)
1～9分	―	約62分
1分※2、3分 1～9分	―	24分 約(10～80分)
6分 1～9分	―	46分 約(20～100分)
6分 1～9分	―	48分 約(35～110分)
1分 1、3、6分	―	34分 約(15～75分)
3分 1、3、6分	―	45分 約(25～50分)
30、60分 (脱水表示は9分)	―	61、91分
9分 1～9分	―	64分
6分 1～9分	―	160分
6分 1～9分	―	400分
―	30、60、120、180分	30、60、120、180分

※2 洗濯物の量が約2kg以下で、水量「22L」または「38L」に自動計測されたときの時間になります。

コースの内容

●電源を入れると前回運転したコースが表示されます。(「標準」「おいそぎ」「手造り」「念入り」コース)
●運転スタート後に運転内容を変更するときは、「一時停止」ボタンを押してから変更してください。
「洗い」行程終了後は、運転内容は変更できません。
●運転スタート後、コースの切り替えはできません。
一度電源を切ってから行ってください。
●すすぎ運転中に水量を変更するときは、「一時停止」ボタンを押してから「水量」ボタンを押してください。

便利な使いかた

運転スタート音・終了予告音・終了音の設定

運転スタート・終了予告音・終了時のメロディ音を同時に変更することができます。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 すすぎ **を3秒以上押す**

→ **メロディ**（**工場出荷時の設定**） → **ブザー** → **音なし**（**設定音「ピー」**）

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
ご希望の音になるまで、設定の切り替えを繰り返してください。
設定完了をそれぞれの音でお知らせします。
「終了予告音の設定」は、工場出荷時は「音なし」が設定されています。

3 切/入 **を押し、電源を切る**

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

終了予告音の設定

予告音にて運転終了約10分前をお知らせします。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 スタート 一時停止 **を3秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。

音なし(工場出荷時の設定) ⟷ **音あり**
「ピッ・ピッ・ピー」　「ピッ・ピッ・予告音メロディ」

「運転スタート音・終了予告音・終了音の設定」によって、
切り替え時に鳴る音が異なります。
「音あり」を設定しても、「運転スタート音・終了予告音・
終了音の設定」が「音なし」に設定されていると、終了予告音
は鳴りません。

3 切/入 **を押し、電源を切る**

(電源を切ることで完了となります)

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●終了予告音の設定をすると、「おいそぎ」コースなど運転時間が短い場合は、スタートしてすぐ洗剤量表示中などに終了予告音が鳴ることがあります。
●脱水時に、洗濯物の片寄りが起こり脱水をやり直したときは、終了予告音は鳴りません。

高速脱水の設定

1000回転／分の高速脱水で、洗濯物の水分をしっかり飛ばして、干し時間を短縮します。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 脱水 **を3秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

高速 9 6 3 1 分 消灯	**設定なし** (800回転/分) **(工場出荷時の設定)**	「ピー」音で お知らせします
高速 9 6 3 1 分 点灯	**設定あり** (1,000回転/分)	「ピッ」音で お知らせします

3 切/入 **を押し、電源を切る**

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

水量を多めにする

洗濯物の量に合わせて自動設定される水量を、多めに設定することができます。

最低水量の「22L」は「38L」になりますが、各コースの最高水量はそのままです。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 水量 **を3秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

L	**設定なし (工場出荷時の設定)**	「ピー」音で お知らせします
H	**設定あり**	「ピッ」音で お知らせします

3 切/入 **を押し、電源を切る**

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

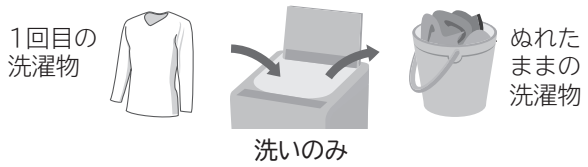
便利な使いかた　つづき

洗濯液を2度使う（手動投入時のみ）

汚れの少ないものと汚れの多いものを2度に分けて洗うことができます。

1 1回目は汚れの少ないものを洗う

1 「洗い」のみを設定する→**(P.49)**
2 「水量」を設定し、洗剤を入れる
3 運転終了後、ぬれたままの洗濯物を取り出す



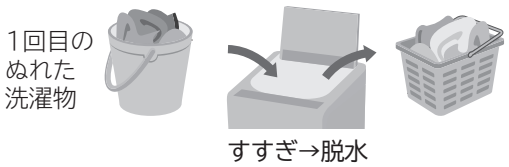
2 2回目は汚れの多いものを洗う

1 1回目の洗濯液を利用して、お好みのコースを設定する→**(P.50)**
2 洗濯物に応じた水量を設定する
3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す



3 1回目に洗い終わった洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

1 「すすぎ」と「脱水」を設定する→**(P.49)**
2 1回目と同じ水量を設定する
3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す



お手入れをする

長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。
お手入れ方法について説明します。

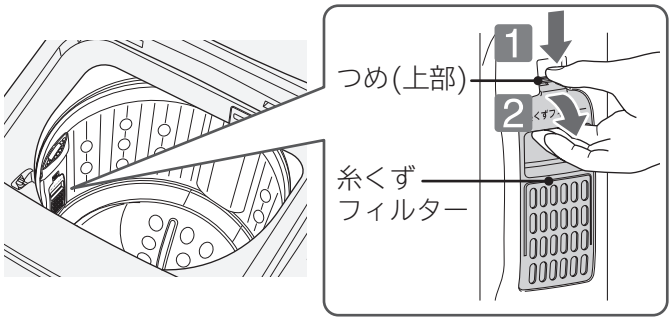
糸くずフィルター

洗濯運転終了後、毎回お手入れしてください。

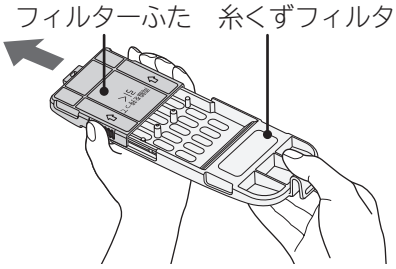
1 糸くずフィルターを取り外す

1 糸くずフィルターのつめ(上部)を、押したまま

2 手前に倒し、取り外す



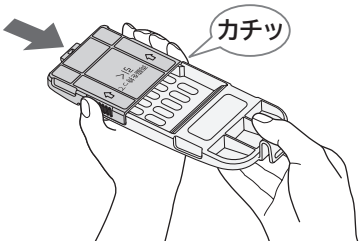
2 フィルターふたの両脇を持って引き抜く



3 糸くずフィルター内に付着した糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

4 フィルターふたを糸くずフィルターに元どおり取り付ける

「カチッ」と音がするまで押してください。
確実に取り付けないと、運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。

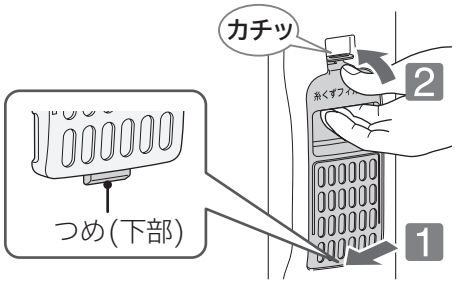


5 糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

1 糸くずフィルターのつめ(下部)を、取り外した位置に入れる

2 糸くずフィルターのつめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す

確実に取り付けないと、運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。



- ●糸くずフィルターを取り外したあとの洗濯・脱水槽の穴に、硬貨やヘアピンなどを落とさないように注意してください。
- ●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷める場合があります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.78)

お手入れをする つづき

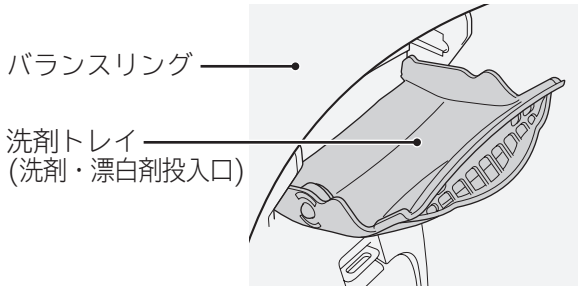
洗剤トレイ（洗剤・漂白剤投入口）

洗剤や漂白剤が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

1 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を開ける

2 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)の汚れをふき取る

●洗剤が残っている場合は、ふき取ってください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)を使用して、歯ブラシなどで掃除してください。



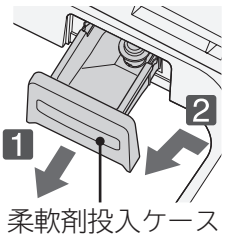
3 水気をふき取り、洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を閉める

柔軟剤投入ケース

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1 柔軟剤投入ケースを取り外す

1 柔軟剤投入ケースを手前に引き出す
2 柔軟剤投入ケースを左方向に押しながら引き抜く



2 柔軟剤投入ケースからキャップを取り外し、汚れを洗い流す

●柔軟剤投入部、キャップ、キャップの穴など、柔軟剤が付着しているところを掃除してください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約5分間浸し、歯ブラシなどで掃除してください。
●凍結したときは、柔軟剤投入ケースにお湯(約40℃)を入れてください。
●洗い流したあと水気をふき取ってください。



3 キャップを取り付け、柔軟剤投入ケースを取り外した位置に取り付ける

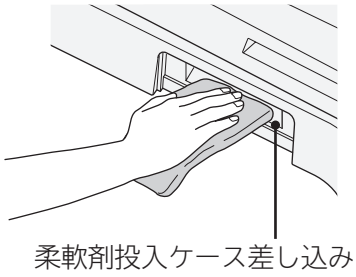
柔軟剤投入ケース差し込み口

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

1 **柔軟剤投入ケースを取り外す→(P.56)**

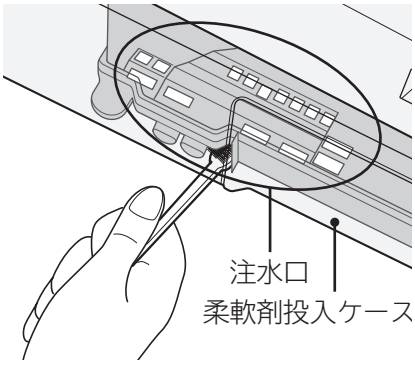
2 **柔軟剤投入ケース差し込み口を掃除する**
湿った布で汚れをふき取ってください。

3 **柔軟剤投入ケースを取り外した位置に取り付ける**



注水口

ごみが残っていたり、汚れているときは、お手入れしてください。
注水口を歯ブラシなどで掃除してください。



お手入れをする つづき

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)・タンク取付部

次の場合に、洗濯・脱水槽の中には衣類を入れないでお手入れをしてください。

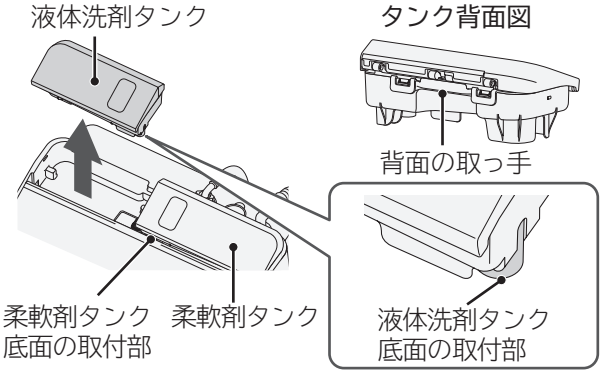
・2～3か月に一度(目安)
・使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき
・自動投入機能を1か月以上使わなかったとき
・タンク取付部に汚れが残っているとき
・自動投入部ふたを開けたまま放置したときや残量が少ないまま放置したとき
・自動投入タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったとき

自動投入部ふたとタンクふたの開閉をするとき、指や手を挟まないように注意してください。

1 液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンク背面の取っ手を持ってまっすぐ引き上げて取り外す

液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクを引き上げるとき､液体洗剤や柔軟剤がタンク底面の取付部から垂れる場合があります。柔らかい布でふき取ってください。
取り外しにくいときは、タンク背面の取っ手を持ち、タンク手前側に手を添えて取り外してください。

イラストは、液体洗剤タンクを例として説明します。



2 自動投入部ふたとタンクふたのお手入れをする

1 自動投入部ふたを開け、タンクふたから自動投入部ふたを取り外す

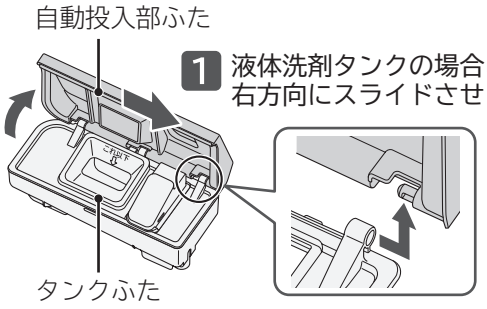
液体洗剤タンクの場合は、図 **1** のように自動投入部ふたを右方向にスライドさせながら手前に傾け、取り外してください。
(柔軟剤タンクの場合は､左方向にスライドさせる)

2 タンクを押さえ、タンクふたのつまみをかるく開きながら、タンクふたを取り外す

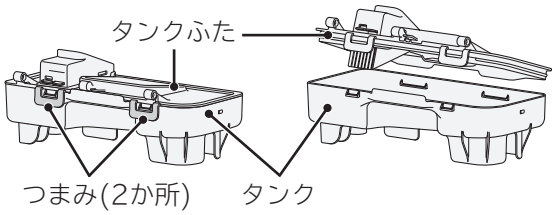
つまみを開きすぎると破損するおそれがあります。

3 自動投入部ふたとタンクふたの汚れを洗い流す

汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約10分以上浸し、泡立ち、ぬめりがなくなるまですすいで、乾いた布でふき取るか自然乾燥させてください。



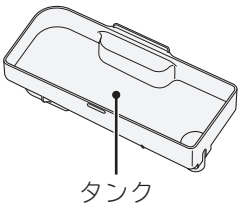
2 タンク背面図
(自動投入部ふたを取り外した状態)



3 タンク内のお手入れをする

タンク内の汚れを洗い流す

●タンク内は、泡立ち、ぬめりがなくなるまですすいでください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約10分以上浸し、泡立ち、ぬめりがなくなるまですすいで、水気をふき取ってください。



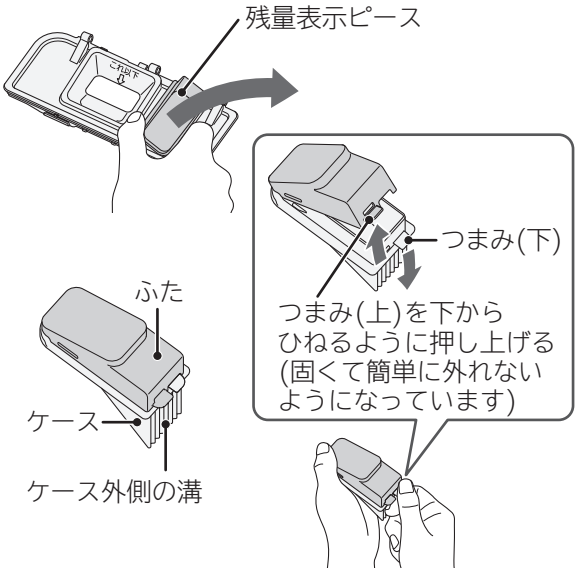
4 残量表示ピースのお手入れをする

残量表示ピースを傾けて引き抜く

「カチッ」と音が鳴りますが、固くて簡単に外れないようにしているためです。残量表示ピースやケース外側の溝に液体洗剤や柔軟剤のぬめりがなくなるまですすいで、乾いた布でふき取るか自然乾燥させてください。

万一、残量表示ピース内が汚れた場合

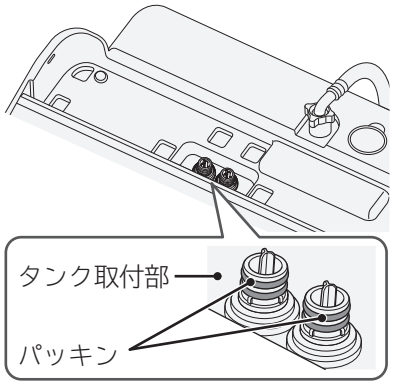
ケースのつまみ(下)を押さえ、ふたのつまみ(上)をひねるようにして取り外してください。
固くて簡単に外れないため、けがをしないように注意してください。ケース内に付着している水滴などを、湿った布でふき取ってください。
黄色の残量表示シールがはがれるおそれがあるため、ブラシなどで強くこすらないでください。



5 タンク取付部のお手入れをする

タンク取付部周辺を湿った布でふき取る

- タンク取付部周辺に液体洗剤や柔軟剤の残りや汚れが付着していると、液体洗剤・柔軟剤経路の詰まりの原因になったりカビが発生することがあります。お手入れのあと、水やほこりが残っていないことを確認してください。
- 使用する液体洗剤や柔軟剤の種類によっては、パッキンに色が移る場合があります。
- パッキン部をブラシなどで強くこすらないでください。
  パッキンが傷み、液体洗剤や柔軟剤が液漏れする原因になります。



6 液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクを取り外した位置に取り付ける

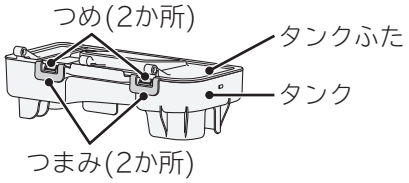
1 タンクふたのつまみをタンク背面のつめに取り付ける
2か所をきちんとはめ込んでください。

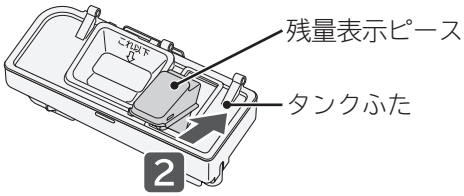
2 残量表示ピースをタンクふたに取り付ける
図 **2** のように斜め方向に入れ、「カチッ」と音がするまで押してください。

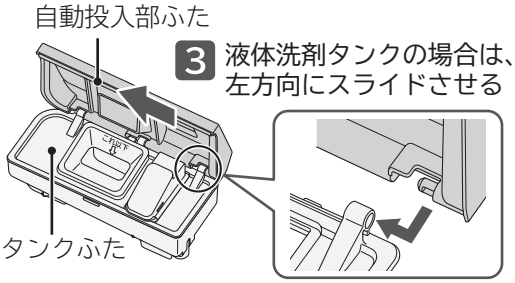
3 自動投入部ふたをタンクふたに取り付ける
液体洗剤タンクの場合は、図 **3** のように自動投入部ふたを左方向にスライドさせながらはめ込んでください。
(柔軟剤タンクの場合は、右方向にスライドさせる)

4 液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクを本体に取り付ける
タンクが浮き上がらないように本体に取り付けてください。浮き上がっていると運転中に自動投入がされず、液体洗剤や柔軟剤が液漏れする原因になります。

タンク背面図
(自動投入部ふたが取り付けられていない状態)







お願い 液体洗剤タンク・柔軟剤タンクは消耗品です。
破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.78)

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)と液体洗剤・柔軟剤経路

液体洗剤タンク・柔軟剤タンク・タンク取付部のお手入れのあと、液体洗剤・柔軟剤経路のお手入れをしてください。
洗濯・脱水槽の中に衣類は入れないで運転してください。

液体洗剤経路のお手入れ

準備 水栓(蛇口)を開ける

1 お手入れをした液体洗剤タンク内にお湯(約40℃)を入れる

液面が「これ以下」の位置まで入れてください。→(P.20)

2 次の手順でお手入れ運転をする

「柔軟剤」と設定を同時に行うことはできません。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗い を3秒以上押す

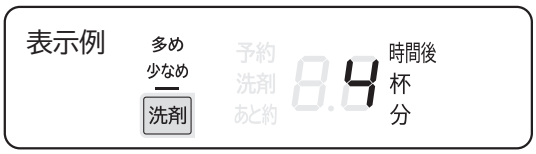
受付音のあとも押し続けることで、残時間表示部に数字が表示されます。

3 洗剤 を押し、時間を選ぶ

押すごとに表示が切り替わり、「多め」「少なめ」と残時間表示部に時間が表示されます。

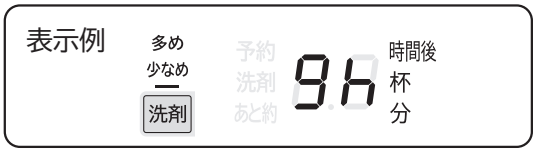
自動投入を継続して使用している場合

「4分」を設定する



自動投入を継続して使用していない場合

「9時間」を設定する



4 スタート 一時停止 を押し、運転する

上記設定した時間が経過したあと、「ピー」と音が鳴り、自動で電源が切れます。

柔軟剤経路のお手入れ

準備 水栓(蛇口)を開ける

1 お手入れをした柔軟剤タンク内にお湯(約40℃)を入れる

液面が「これ以下」の位置まで入れてください。→(P.20)

2 次の手順でお手入れ運転をする

「洗剤」と設定を同時に行うことはできません。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗い を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、残時間表示部に数字が表示されます。

3 柔軟剤 を押し、時間を選ぶ

押すごとに表示が切り替わり、「多め」「少なめ」と残時間表示部に時間が表示されます。

自動投入を継続して使用している場合

「4分」を設定する



自動投入を継続して使用していない場合

「9時間」を設定する



4 スタート 一時停止 を押し、運転する

上記設定した時間が経過したあと、「ピー」と音が鳴り、自動で電源が切れます。

お手入れ後に液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクを取り出して、残った水を捨ててからタンク内やタンク取付部周辺を柔らかい布で完全にふき取ってください。

お手入れをする つづき

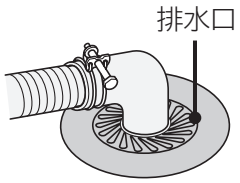
排水口・排水トラップ

月に一度を目安にお手入れをしてください。
また、お知らせ表示「C2」や「Ch」が表示されたときにもお手入れをしてください。

1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する

「脱水」のみなどの個別運転をする→(P.49)



2 排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くに
バケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。

2

排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

別売り部品の洗濯機用排水トラップのお手入れ方法については、洗濯機用排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3

排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

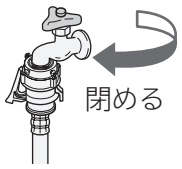
お手入れをしても排水できない場合や、再びお知らせ表示「C2」や「Ch」が表示されるときは、
お困りのときを確認してください。**→(P.68)**

- ●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売り部品の糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。**→(P.78)**
- ●排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれていることを確認してください。**→(据付説明書 P.9)**

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、お知らせ表示「C1」が表示された場合、お手入れをしてください。
水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める



2 給水ホース内の水を抜く

1 ふたを閉めて 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
すぐに給水動作が始まるためです。

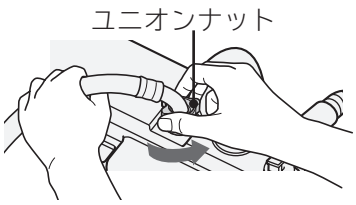
3 スタート 一時停止 を押し、約1分間運転する
給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。

4 スタート 一時停止 を押して、運転を一時停止する

5 切/入 を押し、電源を切る

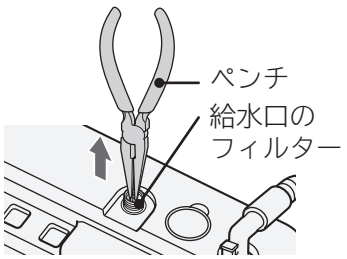
3 液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを外してから ユニオンナットを矢印方向に回し、給水ホースを外す

給水ホース内の残水が垂れる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、
ぞうきんなどで水を受けてください。



4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

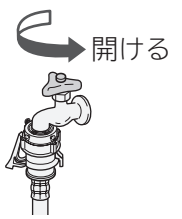
給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻して
ください。取り付けられていないと、給水弁の故障の原因になります。



5 給水ホースを給水口に取り付け、液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを取り付ける →(据付説明書P.14)

ユニオンナットと給水口を傾きがないよう水平に合わせて、ユニオンナットをしっかり締め付けて
ください。つぎてを回して追い締めをしないでください。水漏れの原因になります。

6 水栓(蛇口)を開ける



お手入れをする つづき

本体

水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

●本体の水滴や汚れ、ふた取っ手などのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着しているときは、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
●本体各部に直接水をかけないでください。
●ふたのガラス面(強化処理ガラス)は、柔らかい布でふき取ってください。薬品やガラスクリーナーなどは使用しないでください。周辺の部品がさびたり、破損したりすることがあります。
●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
・ベンジン　・シンナー　・クレンザー(粉末タイプ)　・アルカリ性洗剤　・ワックス
●蛇腹ホースには、摩擦による破損を防ぐため潤滑剤(白色のグリース)が塗布されています。ふき取らないでください。

洗濯・脱水槽

汚れているときは、お手入れをしてください。洗濯・脱水槽に付いたさびは、湿った布にクリームクレンザーを含ませてふき取ってください。

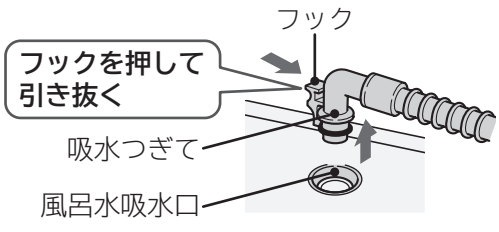
●金属たわしでこすらないでください。
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合はさびが発生することがあります。
・ヘアピンなどの金属類が長時間接触しているとき
・鉄粉や赤さびの混じった水を使用したとき
・洗濯・脱水槽内に、塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤がついたまま長時間放置したとき
●運転終了後に、給水経路に残った水が注水口から垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
●汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.66)**
●洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。**→(P.66)**
●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
・ベンジン　・シンナー　・クレンザー(粉末タイプ)　・アルカリ性洗剤　・ワックス

風呂水吸水口

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください

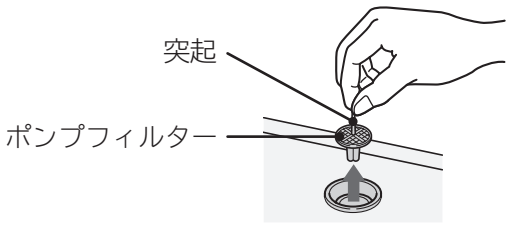
1 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 ポンプフィルターを取り外し、水洗いする

ポンプフィルター中央部の突起を指またはペンチなどでつまみながら引き上げてください。



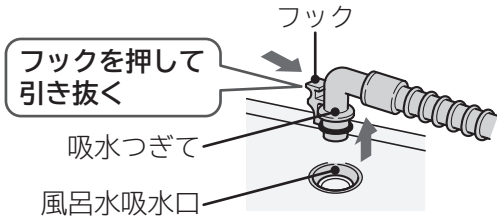
3 ポンプフィルターを風呂水吸水口に取り付ける

お湯取ホース・クリーンフィルター

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

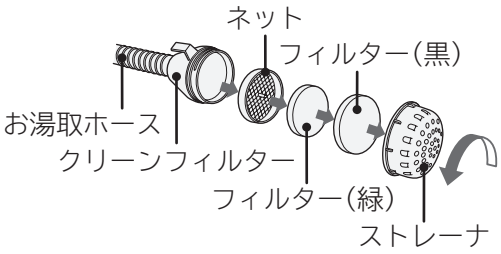
1 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



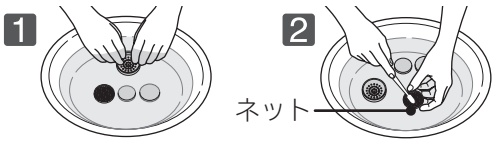
2 ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出す

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



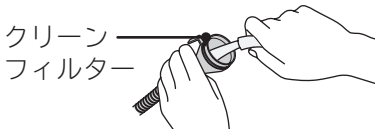
3

1 フィルター、ストレーナを水洗いする
2 ネットは歯ブラシなどで掃除する



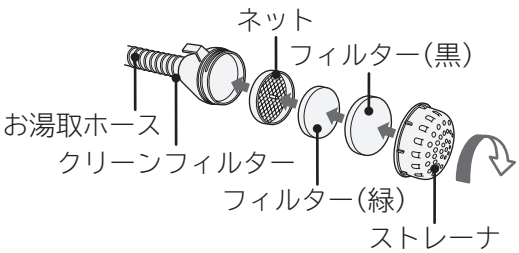
4 お湯取ホースの内部をお手入れする

勢いが強めの水道水をお湯取ホースの中に流し、内部のゴミを洗い流します。



5 水気をふき取り、取り外した位置に取り付ける

フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、故障の原因になります。



お願い お湯取ホース・クリーンフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.78)

洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗浄・槽乾燥コース)

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。
洗濯・脱水槽の中に衣類は入れないで運転してください。

コースの使い分け

コース	運転時間	こんなときに	使用する洗濯槽クリーナー
槽洗浄	11時間	**洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき** 洗濯・脱水槽や洗濯物に汚れが付着した場合、洗濯・脱水槽内からにおいがする場合に運転をお勧めします。	**防食剤配合塩素系漂白剤** 例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1(別売り部品) 
	3時間	**洗濯・脱水槽のにおいの発生を抑制したいとき** 定期的な運転をお勧めします。 ・「自動おそうじ」を継続使用している場合は、3～4か月に一度程度 ・「自動おそうじ」を継続使用していない場合は、1～2か月に一度程度	**衣類用塩素系漂白剤** (「ハイター」など)または **洗濯槽用塩素系漂白剤** 
槽乾燥	30分	**洗濯・脱水槽を乾かしたいとき**	**使用しない**

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合（換気をする）

- ●洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
  洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤を使用する際は、十分に換気をしてください。
- ●日立純正洗濯槽クリーナーSK-1(別売り部品)を使用する場合は、1回の槽洗浄運転ごとに1本(約1500mL)を使い切ってください。塩素系漂白剤で使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
- ●酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
  泡が多量に発生し、本体の故障や水漏れの原因になります。
- ●洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体各部に付着しないように注意してください。
  付着した場合は、すぐにふき取ってください。

運転動作

槽洗浄コース

高水位のつけおき洗いで、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約30分間乾燥してにおいを取ります。

洗濯・脱水槽に高水位まで給水します。 → **洗い** かくはんします。(約15分) → つけおきします。(休止) 11時間コース：約10時間 3時間コース：約1時間45分 ▶ **すすぎ** 排水・脱水後ためすすぎを2回します。 ▶ **排水** 排水します。 ▶ **脱水** 脱水します。(約30分)

槽乾燥コース

約30分間、洗濯・脱水槽を乾燥します。

乾燥
乾燥します。(約30分)

槽洗浄コースの手順

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 電源を入れる

2

1 洗濯 を押し、「槽洗浄(11時間)」コースを選ぶ

「槽洗浄(3時間)」コースを選ぶときは、もう一度 洗濯 を押す

2 日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を、洗濯・脱水槽に直接入れる

本体各部(洗濯・脱水槽以外)に付着しないように注意してください。
付着したときは、すぐにふき取ってください。
風呂水を使用する→(P.30〜33)

表示例

槽洗浄11時間



槽洗浄3時間



3

1 ふたを閉める
2 スタートボタンを押す
3 運転終了後、お手入れをする

表示例　スタート直後の残り時間

スタート直後



スタート直後から
残り時間「100分」まで

残り時間99分



終了



残り時間「99分」表示後、終了まで
1分ごとに減っていきます。

槽乾燥コースの手順

1

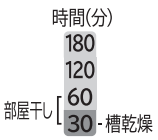
電源を入れる

2

エアジェット を押し、「槽乾燥(30分)」コースを選ぶ

「エアジェット30分」と「槽乾燥(30分)」は同じ表示です。
洗濯・脱水槽に水が入っている場合は排水してから運転してください。**→(P.49)**

表示例　槽乾燥30分



3

1 ふたを閉める
2 スタートボタンを押す

表示例　スタート直後の残り時間

残り時間30分



終了



残り時間「30分」表示後、終了まで
1分ごとに減っていきます。

お困りのとき

下記以外が表示されたときは→(P.73)

お知らせ表示(C○などが表示)されたとき

「お知らせ表示」のみ点滅している場合、運転は終了しています。
運転の途中で停止した場合は、表示とブザーでお知らせします。

「お知らせ表示」に加え、「洗い」「すすぎ」「脱水」のいずれかが点滅している場合は、点滅している行程で運転が停止しています。そのときは、下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。
お知らせ表示されたまま12時間以上(「C0」表示は1時間以上)放置すると、自動で電源が切れます。



「C○」が表示されるときは下表を確認してください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。ご不明な点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。**→(P.82)**

お知らせ表示と内容	直しかた
 洗濯物の量が多すぎます	スタート 一時停止 を押して一時停止 ▶ 洗濯物の量を減らしてください。 ▶ 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 給水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ▶ ●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。**→(P.63)** ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。**→(P.77)** ▶ 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 排水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ▶ 洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。 脱水運転を行い、排水されたことを確認後、以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースのお手入れをしてください。**→(P.62)** ●排水ホースを正しく取り付けてください。**→(据付説明書 P.9)** ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していますか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースの長さを2m以下にしてください。 ●水が入ったまま「エアジェット」コースを運転していませんか。洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水してから運転してください。 ▶ 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 ふたが開いています	「洗い」中 ふたを閉めてください。 ▶ ふたを閉めると運転再開
	「洗い」(「おしゃれ着」、「毛布」コース設定時)・「すすぎ」・「脱水」中 スタート 一時停止 を押して一時停止 ▶ ふたを閉めてください。洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたがロックされます。**→(P.13)** ▶ ふたを閉めて スタート 一時停止 を押して運転開始
	チャイルドロック設定時 ふたを閉めてください。 ▶ スタート 一時停止 を押して一時停止 ▶ もう一度 スタート 一時停止 を押して運転開始
 脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ▶ ●洗濯物の片寄りを直してください。**→(P.19)** ・洗濯物が片寄らないように、洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。 ・大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。また、フリースなど水を含みにくい洗濯物は、一つだけで洗濯しないでください。ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。**→(据付説明書 P.12)** ▶ 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始

お知らせ表示と内容	直しかた
C8 ふたがロック されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 → ふたを閉めてください。 → 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
C9 ふたのロックが 解除されません	
Ch 脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 → ●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C2」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●排水異常や泡が多量に発生しているときは、一度すすぎを行い脱水してください。→(P.49) → 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始

F.8 電源プラグを抜き差ししても「F○」が繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。ご不明な点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。→(P.82)

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。

音 マークの音は、ホームページからサンプル音が試聴できます。(音は水道水圧、洗濯物の量、本体の設置環境などにより異なります)

2020_bw

こんな音がしたときは		音の原因(故障ではありません)	
洗いまたはすすぎをしているとき	ジュジュ	給水中の音です。 ・給水圧が高いと、音が大きくなる場合があります。水栓(蛇口)を少ししぼって給水量を調節してください。	音
	グー	自動投入が作動している音です。	音
	カチャ・カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。	音
	カラカラ・コトコト	内部のギヤの音です。	—
脱水しているとき	シャーシュワシュワ	脱水運転中に「自動おそうじ」が作動している音です。	音
	ピュー・ヒュー	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽の回転が段階的に加速、減速するため、音が大きくなることがあります。	音
お湯取運転しているとき	ウィーン	風呂水が吸水されるときの、風呂水ポンプの運転音です。 ・風呂水の吸水が始まったとき、風呂水がなくなったとき、正しく風呂水吸水されなくなったときに、風呂水ポンプの運転音が大きくなることがあります。	音
	ポコ・ポコ	風呂水が吸水されるときに、風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。	音

お困りのとき　つづき

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
❶本体・振動・音	本体からにおいがする	ゴム製品などのにおいがすることがありますが、使用するにつれて、においはなくなります。気になる場合は、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.66)**
		洗濯・脱水槽に石けんかすや黒カビが発生すると、においの原因になります。 ・「自動おそうじ」を設定することをおすすめします。**→(P.45)** ・汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.66)** ・洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。**→(P.66)** また、ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
		排水口に糸くずなどが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.62)**
	表示部がくもる	お湯取運転で洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気で表示部がくもる場合があります。
	本体内部に物を落とした	床面に落ちていない場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。**→(P.82)**
	運転終了後にふたの裏側や衣類を投入する周辺に水滴が付く	洗濯・脱水運転中に飛びはねた水滴や、「自動おそうじ」運転時のシャワー水が付着したものです。 気になる場合は、タオルなどでふき取ってください。
	ボタンを押しても受け付けない	電源投入直後は、ボタンを受け付けるまでに最大1秒程度時間がかかることがあります。故障ではありません。
		一時停止後、運転が完全に停止するまでは、次の操作を受け付けない場合があります。約10秒待ってから、再度操作してください。
	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。**→(据付説明書P.12)**
		ふたを開けて、目視できる範囲で洗濯・脱水槽内に、硬貨やヘアピンなど異物が残っていないことを確認してください。
		洗濯物が片寄っていないことを確認してください。 「一時停止」ボタンを押したあと、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。
❷給水口・給水	給水されない	お湯取運転が設定されていると、すぐに水道水が給水されません。 お湯取運転が設定されていないことを確認してください。**→(P.32)**
		水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。
		スタート後、ふたを閉めてから約1分後に給水が始まります。ふたが開いていると給水されません。
		給水口のフィルターにゴミが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.63)**
		水道や給水ホースが凍結していないことを確認してください。**→(P.77)**
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。水道工事店へご相談することをおすすめします。

こんなときは		ここを確認してください
❷給水口・給水	(バケツなどで水を入れるとき) **水がたまらない**	電源が入っていることを確認してください。 電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
	水が抜ける	洗濯・脱水槽に約10L以下の水が入ったまま、「電源」または「スタート」ボタンを押すと入っていた水を排水する場合があります。 (「標準」「おいそぎ」「手造り」「念入り」「デリケート」コース)
		「おしゃれ着」「毛布」コースの場合は、槽回転を制御するために、あらかじめ水が入っているといくらか排水します。
❸排水口・排水	**排水口の周りが泡であふれている、ぬれている**	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、表示に従って適量を入れてください。**→(P.24)**
❹ふた	**ふたが開かない**	電源を入れ、ふたのロック表示を確認してください。**→(P.13)** ・ チャイルドロック が点灯中は、チャイルドロックが設定されているため、ふたは開けられません。 運転を一時停止させてから、エアジェット を5秒以上押して、 チャイルドロック を消灯させてください。 ・ が点灯中は、ふたにロックがかかっているため、ふたが開けられません。 「スタート/一時停止」ボタンを押して を消灯させてください。 ・運転の途中で電源が切れた場合は、ふたがロックされたままの状態で運転が終了します。 電源を入れ、 が消灯するとふたは開けられます。 チャイルドロック が点灯している場合は、チャイルドロックを解除してください。
❺洗濯・脱水槽	**初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている**	工場出荷時に動作確認のため使用した残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽や排水ホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色する場合があります。気になる場合は、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。
	洗濯・脱水槽内のプラスチック部品が変色する	色落ちしやすいものを洗濯すると洗濯・脱水槽内のプラスチック部品に色移りする場合がありますが、機能上問題ありません。
❻風呂水吸水口・風呂水吸水	**浴槽内の風呂水が減らない**	お湯取運転が設定されていることを確認してください。**→(P.32)**
		お湯取ホースが正しく取り付けられていることを確認してください。**→(P.30)**
		お湯取ホース先端のクリーンフィルターに、ゴミなどが詰まっていないことを確認してください。**→(P.65)**
❼柔軟剤投入ケース	**柔軟剤投入ケースに水が残っている**	本体が傾いて据え付けられていると、柔軟剤投入ケース内に水が残ります。 水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。 **→(据付説明書P.12)**
		柔軟剤投入ケース内のキャップを奥まで取り付けてください。 サイホン現象により水を排出する構造のため、水が残ります。
		柔軟剤投入ケースやキャップが汚れている場合は、お手入れをしてください。**→(P.56)**

こんなときは		ここを確認してください
⑧自動投入部（液体洗剤タンク・柔軟剤タンク）	自動投入されない	自動投入が設定されていることを確認してください。**→(P.22)** 「おしゃれ着」、「高濃度つけおき360分」コース、「洗い」なしの場合は、液体洗剤の自動投入は設定できません。「すすぎ」なしの場合は、柔軟剤の自動投入は設定できません。
		液体洗剤タンク・柔軟剤タンクが正しく取り付けられていることを確認してください。**→(P.20)**
		自動投入時、液体洗剤や柔軟剤の入れ間違いに注意してください。
		液体洗剤タンク・柔軟剤タンク内の液体洗剤や柔軟剤の残量を確認してください。**→(P.21)**
		下記の場合は、液体洗剤タンク・柔軟剤タンク内に変質した洗剤成分が残っている場合があります。 ・自動投入部ふたを開けたまま放置したときや残量が少ないまま放置したとき ・自動投入タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったとき ・粘性の高いもの、固まったものや分離したものを使用したとき ・自動投入機能を1か月以上使わなかったとき お湯(約40℃)に約10分間浸し、泡立ち、ぬめりがなくなるまですすぎ、乾いた布でふき取るか自然乾燥をさせてください。 上記を確認し、それでも自動投入されない場合は、自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)と液体洗剤・柔軟剤経路が詰まっているおそれがあります。 「9時間」設定で液体洗剤・柔軟剤経路のお手入れをしてください。**→(P.60)**
		1回あたりの使用量はわずかなため、目視では正しく自動投入されたかどうか分からないことがあります。
	自動投入設定時に手動投入した	自動投入と手動投入が同時にされるため、洗剤・柔軟剤の入れ過ぎになります。
	自動投入設定時に漂白剤を使用する	スタート後に、洗剤量(目安)表示に従って、洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れてください。**→(P.26)**
	自動投入部ふたや残量表示ピースがぬれている	湿気などで結露する場合がありますが、異常ではありません。 柔らかい布でふき取ってください。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
⑨運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。洗剤は表示に従って適量を入れてください。**→(P.24)**
		洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物をほぐすため「注水すすぎ」に変更されます。
		すすぎ運転をお湯取運転に設定していると、自動で「ためすすぎ」に切り替わります。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、お知らせ表示「C4」が表示され、運転が途中で停止することがあります。洗濯物の片寄りを直してください。**→(P.68)**
		最終脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	エアジェット運転ができない	洗濯・脱水槽に水が入っていると運転しません。 洗濯・脱水槽内の水を排水してください。**→(P.49)**
	洗い運転中に洗濯・脱水槽が停止している(運転が停止している)	運転中は「洗い」の時間表示が点滅しています。点滅していることを確認してください。 ・「毛布」コースは、傷みを防ぎながら洗うため、運転が停止しているように見える場合があります。 ・「おしゃれ着」「槽洗浄」コースは、つけおきをする行程があるため、運転が停止しているように見える場合があります。
	自動投入の表示が点灯しない	自動投入が設定されていることを確認してください。**→(P.22)**

こんなときは		ここを確認してください
⑩運転時間	運転時間が長い	洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、最初に表示された残時間は、実際の運転時間と異なる場合があります。
		洗濯運転の途中で洗濯物を追加すると、最初に自動計測された洗濯物の重さより重くなるので、運転時間が長くなる場合があります。
		脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。
		「おいそぎ」コースで手動設定をしていると、運転時間が長くなる場合があります。
		お湯取運転を設定していると風呂水の吸水状態により、運転時間が長くなる場合があります。
		「自動おそうじ」を設定すると、脱水行程で「自動おそうじ」が作動するため、運転時間と使用水量が増えます。
		「ナイアガラすすぎ」を設定すると、すすぎの運転動作が変わるため、運転時間と使用水量が増えます。
		「注水すすぎ」を設定すると、「ためすすぎ」よりも使用水量が増えます。
		自動投入を設定すると、液体洗剤や柔軟剤の投入動作や液体洗剤・柔軟剤経路の洗浄動作が行われるため、運転時間が長くなる場合があります。

操作パネルの表示内容 〔「C○」などが表示されたとき→(P.68)〕

こんなときは		ここを確認してください
⑪水量表示・洗剤量表示	水量表示が自動で切り替わる	洗濯・脱水槽に、水が入っている状態でスタートすると、洗濯物の量が自動計測されないため、自動で一番高い水量になります。 洗濯・脱水槽内の水を排水してから、運転を開始してください。**→(P.49)**
		すすぎ運転をお湯取運転に設定していると、自動で「ためすすぎ」に切り替わります。
	水量表示が自動設定されたが、水量が少ない	「水量を多めにする」を設定してください。**→(P.53)**
	洗濯物の量が少なくても、洗剤量(目安)表示が多めに表示される	下記の場合または気温の影響により、洗濯物の量が多めに自動計測されます。 ・湿気を多く含んでいる洗濯物　・ぬれている洗濯物　・厚手の洗濯物(重いため) 水量を変更したい場合は、「一時停止」ボタンを押し、水量を変更してください。
		「水量を多めにする」を解除してください。**→(P.53)**
	洗濯物の量が多くても、洗剤量(目安)表示が少なめに表示される	モーターのなじみの影響により、洗濯物の量が少なめに表示される場合があります。 水量を変更したい場合は、「一時停止」ボタンを押し、水量を変更してください。
		化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに自動計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、「一時停止」ボタンを押し、水量を変更してください。
		「水量を多めにする」を設定してください。**→(P.53)**
⑫残時間表示	脱水運転後に残時間が点滅する	脱水運転後に、洗濯物をほぐす動作をしているときの表示です。 「一時停止」ボタンを押すと、自動で電源が切れ、洗濯物を取り出すことができます。
	残時間が変わる(途中で増減する)	残時間は運転途中に補正されるため、運転の途中で表示が増える、または減る場合があります。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
⑬衣類に洗剤残りがある (白いものが残る)	洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、溶け残るおそれがあります。 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れてください。**→(P.26)**
	石けん(天然油脂)は、洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れないでください。 石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。**→(P.27)**
	水温が低いと洗剤が溶けにくいことがあります。
	洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・「水量を多めにする」を設定してください。**→(P.53)** ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.46)** ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」を設定してください。**→(P.48)** ・洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
⑭糸くずが気になる	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 ・「水量を多めにする」を設定してください。**→(P.53)** ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.46)** ・「注水すすぎ」を設定してください。**→(P.46)**
	洗濯・脱水槽の内部に、たい積した固形の汚れ(糸くずなどの固まり)により、洗濯物に糸くずが付着することがあります。 「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。 **→(P.66)**
	市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。 市販の糸くず防止用洗濯ネットには、洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 洗濯物の間に洗剤や糸くずが残ったままになる場合があります。
⑮汚れ落ちがわるい	洗濯物を入れ過ぎていないことを確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。**→(P.34)**
	洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、高濃度洗剤液を作ることができません。 ・洗剤は表示に従って適量を入れてください。**→(P.24)** ・洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちがわるくなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。**→(P.27)**
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは下記をお試しください。 ・洗い運転の時間を長く設定してください。**→(P.48)** ・「高濃度つけおき120分/360分」コースで、運転してください。**→(P.44)**
	フリースなど水を含みにくい洗濯物は浮いてしまい、洗い残しや汚れ落ちがわるくなる場合があります。 また、洗濯物を傷めたり本体の故障の原因になります。 洗濯物の量を減らしてください。(洗濯・脱水槽の半分程度)
	自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の基準量を正しく設定してください。**→(P.21)** 使用する液体洗剤や柔軟剤に記載されている使用量の目安を確認してください。
	液体洗剤タンクに液体洗剤を入れたまましばらく使わないと、汚れ落ちがわるくなります。
	自動投入の洗剤を「多め」に設定してください。**→(P.22)**

こんなときは	ここを確認してください
⑯黒ずみが気になる	洗剤は洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)、柔軟剤は柔軟剤投入ケースに入れてください。 **→(P.26)** 洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	自動投入が設定されている場合、液体洗剤や柔軟剤がタンクに入っていることを確認し、自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の基準量が正しく設定されていることを確認してください。**→(P.21)**
	種類や組み合わせによっては、柔軟剤が衣類に蓄積し黒ずみが目立つことがあります。 液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるか、粉末合成洗剤に変えてお試しください。
	ぬれた洗濯物を入れたままにしないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。
	井戸水を使用したとき、水質により異物の混入や黒カビが発生する場合があります。
	黒ずみが気になるときは、下記をお試しください。 ・「高濃度つけおき120分/360分」コースで、運転してください。**→(P.44)** ・洗い運転の時間を長く設定してください。**→(P.48)**
⑰黄ばみが気になる	洗剤は洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)、柔軟剤は柔軟剤投入ケースに入れてください。 **→(P.26)** 洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	自動投入が設定されている場合、液体洗剤や柔軟剤がタンクに入っていることを確認し、自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の基準量が正しく設定されていることを確認してください。**→(P.21)**
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・「高濃度つけおき120分/360分」コースで、運転してください。**→(P.44)** ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.46)** ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」を設定してください。**→(P.48)** ・予備洗いをする、または洗い時間を長く設定してください。**→(P.48)**
⑱色移りや変色が気になる	取扱絵表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗濯してください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.46)**
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 さびが含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
⑲洗濯物がゴワゴワする	タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤を使用してください。

お困りのとき　つづき

こんなときは	ここを確認してください
⑳においがする	洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、洗濯物に付着するにおいの原因になります。
	香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることがあります。
	お湯取運転に入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後や生乾きで温かい洗濯物を放置すると、雑菌の繁殖によりにおいの原因になります。運転終了後は、洗濯物を早めに取り出してください。
	排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 においが気になる場合は、別売り部品の「洗濯機用排水トラップ」をお買い求めください。 **→(P.78)**
	液体洗剤や柔軟剤経路の詰まりなどにより、においの原因になります。
㉑柔軟剤の効果がない	柔軟剤タンク内の柔軟剤の残量が少ないまま長時間放置したときやしばらく自動投入を行わなかったとき、柔軟剤タンクが詰まって、規定量が投入されないおそれがあります。 また、柔軟剤の香り成分が変化する場合もあります。 柔軟剤タンクのお手入れをしてください。**→(P.58)**
㉒エアジェットや部屋干しを設定したのに乾きがわるい	タイマー式(定時間)のため、衣類の量・種類、気温・湿度・室内の換気状態、設置環境によって、水分の飛ばし具合に差が出ます。足りない場合は追加運転してください。

もしものとき

給水ホース内の水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く

1 排水ホースが排水口に差し込まれていることを確認し、水栓(蛇口)を閉める

2 [切/入]を押し、電源を入れる

3 [洗濯]を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
すぐに給水動作が始まるためです。

4 [スタート 一時停止]を押し、約1分間運転する
給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。

5 [スタート 一時停止]を押し、運転を一時停止する

6 [切/入]を押し、電源を切る

7 給水ホースを外し、下に向ける
残水が垂れる場合があるため、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。

洗濯・脱水槽の水を抜く

8 お湯取ホースを取り付けている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す→(P.30)

9 [切/入]を押し、電源を入れる

10 [脱水]を押し、脱水「1分」を設定して運転する→(P.49)
洗濯・脱水槽と排水ホース内の残水が排水されます。

※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。

もしも凍結したとき

1 給水ホースを外し、約40℃のお湯につける
お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。

2 約40℃のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する

3 給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける

4 [切/入]を押し、電源を入れる

5 [スタート 一時停止]を押し、放置する(給水弁を解凍します)
通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(20分程度)

6 [切/入]を押し、電源を切る

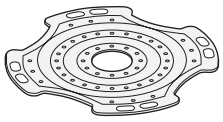
7 次の2点を確認する
(1)電源を入れ、「脱水」を押し、脱水「1分」→(P.49)を設定してスタートし、排水するか
(2)風呂水が吸水されるか(「標準」コースでお湯取運転の設定をして運転する)
風呂水ポンプの解凍は時間がかかるため、吸水できない場合は、自動で水道水給水に切り替わります。
※確認できない場合は、1 ～ 6 を始めからやり直してください。

引っ越しまたは凍結したときは、液体洗剤・柔軟剤タンク内のお手入れをしてください。→(P.58)
液体洗剤や柔軟剤が液漏れする原因になります。

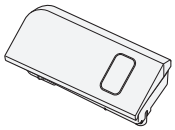
別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

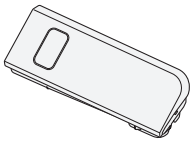
お洗濯キャップ（MO-F92）
(部品番号 MO-F92-001)
希望小売価格 1,320円(税込)



液体洗剤タンク
(部品番号 BW-X100F-042)
希望小売価格 2,904円(税込)



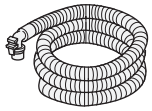
柔軟剤タンク
(部品番号 BW-X100F-043)
希望小売価格 2,904円(税込)



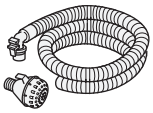
糸くずフィルター（1個）
(部品番号 NET-KV90F-001)
希望小売価格 660円(税込)



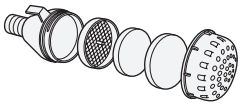
お湯取ホース（約7m）
(部品番号 BW-DX100F-004)
希望小売価格 1,980円(税込)
クリーンフィルターは付いていません。



お湯取ホース（約5m）
（部品番号 BW-DX100F-005）
希望小売価格 1,870円(税込)
クリーンフィルターが付いています。



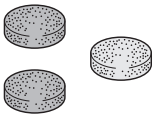
クリーンフィルター
(部品番号 NW-7S-059)
希望小売価格 550円(税込)



お湯取ポンプストレーナ
(部品番号 NW-60RS1-048)
希望小売価格 330円(税込)



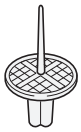
お湯取ポンプフィルター(緑)(黒)セット
(部品番号 BW-D9JV-088)
希望小売価格 330円(税込)



お湯取ポンプネット
(部品番号 NW-7S-057)
希望小売価格 330円(税込)



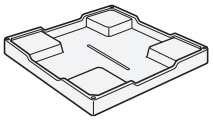
ポンプフィルター
(部品番号 BW-DV9F-081)
希望小売価格 330円(税込)



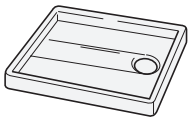
洗濯槽クリーナー（SK-1）
(防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL)
(部品番号 SK-1-001)
希望小売価格 2,200円(税込)



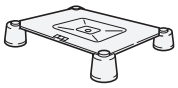
洗濯機用トレー（YT-4）
(幅640×奥行640×高さ83mm)
(部品番号 YT-4-001)
希望小売価格 13,970円(税込)



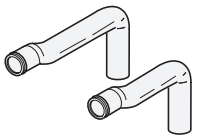
洗濯機用防水パン（TP-780）
(幅780×奥行640×高さ63mm)
希望小売価格 13,200円(税込)
工事が必要です。



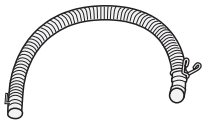
設置台（UP-D2）
希望小売価格 5,500円(税込)



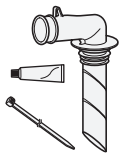
直下排水L形パイプ（HO-P5）
希望小売価格 1,100円(税込)



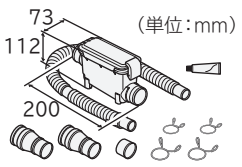
延長用排水ホース（80cm）
(部品番号 KW-50K1-023)
希望小売価格 880円(税込)



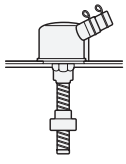
Lパイプ
(部品番号 BD-V3700L-003)
希望小売価格 770円(税込)



糸くずボックス（WLB-4）
(排水ホース：長さ800mm)
(部品番号 WLB-4-001)
希望小売価格 2,200円(税込)



洗濯機用排水トラップ（YT-T1）
希望小売価格 4,400円(税込)
工事が必要です。



希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様・試験結果

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

型　　式	BW-X100F
電　　源	100V、50-60Hz共用
標準洗濯容量	10.0kg (乾燥状態での布質量)
標準脱水容量	
標　準　水　量	62L（標準コース）
標準使用水量	103L（標準コース）
定格消費電力	260W（50-60Hz）
洗　濯　方　式	うず巻式
水　道　水　圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
外　形　寸　法	608×650×1,050 幅×奥行×高さ(mm)
質　　量	約42kg



このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率がJIS C 0950：2008による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/

風呂水ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	40W（50-60Hz）	揚　水　量	毎分12L （全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき）
定　格　電　圧	DC 24V		
定　格　電　流	DC 1.7A	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）

自動おそうじの効果

試験方法	除菌・抑制方法	対象部分	試験結果	報告書No.
外槽・ステンレス槽に取り付けた菌付着プレートの菌の減少率測定	自動おそうじによる	外槽・ステンレス槽	菌の減少率99%	北生発 25_0006_1号
外槽・ステンレス槽に取り付けたカビ付着プレートのカビ抑制確認	自動おそうじによる	外槽・ステンレス槽	カビの減少率99%	北生発 25_0006_2号

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

保証とアフターサービス（よくお読みください）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】　7年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

・運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本産業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz-60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年	
注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度　窓口(商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口)

TEL　0120-3121-11　携帯電話　050-3155-1111(有料)

■受付時間 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)　年末年始は休ませていただきます。

《発信者番号通知のお願い》「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

保証書（裏表紙）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
また、部品共用化のため色などを変更する場合があります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→**(P.82)**にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- ●車両、船舶に搭載して使用された場合。
- ●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検



長年ご使用の洗濯機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手) ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●運転が途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス　つづき

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

●お電話の前に・「よくあるご質問」をホームページでご紹介しております。
・本取扱説明書の「お困りのとき」もご覧ください。

日立家電品 よくあるご質問　検索　https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/

TEL　0120-3121-11

携帯電話　050-3155-1111（有料）

(FAX)　0120-3121-34

■受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)
年末年始は休ませていただきます。
《発信者番号通知のお願い》
「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

スマートフォンやタブレットから

①コードを読み取る　②出張修理の Web 受付 ボタンから入力画面へ　③製品型式など必要情報を入力



コードが読み取れない場合やパソコンからは

●検索からアクセス　日立家電修理 WEB　検索　https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/web.html

オペレーターとの通話をご希望の場合は

TEL　0120-3121-68

携帯電話　0570-0031-68（有料）

(FAX)　0120-3121-87

■受付時間：9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)
《発信者番号通知のお願い》
「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

●ご相談・ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

パーツショップ

●部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。

日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」　検索　https://parts.hitachi-cm.com/pshop/

マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内

ご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■家電品の登録　※マイページへの会員登録が必要です(無料)。

① コードを読み取る

日立の家電品
お客様サポート

② 画面の案内に従って家電品を登録 ※1



※1 家電品の登録には製品型式や製造番号が必要です。製品本体の銘板をご確認ください。

コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/

■マイページ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

webにてご依頼いただくと安全点検サービス割引

ご使用の家電品を長くご利用いただくために安全点検の標準技術料が10%引になります。

※本サービスには、不具合の改善や修理作業などは含まれておりません。

※一部対象外製品がございます。

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

■「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

詳しくは、マイページ(日立の家電品お客様サポート)をご覧ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

ご購入店名　　電話（　　）　-

ご購入年月日　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証書

修理を依頼されるときは(出張修理)

「お困りのとき」→**(P.68～76)**に従って調べていただき、なお異常があるときはご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下記のことをお知らせください。

1.型式：製品本体の銘板を確認してください　2.故障の状況：できるだけ詳しく

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、
保証書をよくお読みください。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

日立全自動電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

日立全自動電気洗濯機 保証書 出張修理

※型式	
※お買い上げ日	年　月　日
保証期間 (お買い上げ日から)	**本体：1年**
※お客様	お名前　様
	ご住所 〒 電話
※販売店	住所・店名 電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますからご確認ください。記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→**(P.82)**にご連絡ください。
(ハ)この製品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書を必ずご提示ください。
2.ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3.贈り物でいただいたものの修理などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→**(P.82)**にご相談ください。
4.離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
5.保証期間内でも次のような場合には有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6.修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
7.日立全自動電気洗濯機の修理以外(洗濯物の変色または損傷など)は、本書による保証の対象外となります。
8.本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
9.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→**(P.82)**にお問い合わせください。
●お客様にご記入いただいた保証書の写しの個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-R0162-2C
B1(C)